官報　第八千二百十七號　明治四十三年十一月十日　木曜日　印刷局

○省令

宮內省令第十三號

帝室林野管理局支廳職制中勅裁ヲ經テ左ノ通改正ス

明治四十三年十一月十日　宮內大臣　子爵渡邊千秋

第一條中青森支廳ノ位置「青森縣青森市」ヲ「青森縣東津輕郡大野村」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

內務省令第三十號

明治三十八年六月內務省令第十六號傳染病研究所痘苗血清類賣捌規則中左ノ通改正ス

明治四十三年十一月十日　內務大臣　法學博士男爵平田東助

第五條第二項中「清韓兩國」ヲ「清國」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

遞信省令第百七號

郵便集金規則左ノ通定ム

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

郵便集金規則

第一條　郵便振替貯金加入者多數ノ者ヨリ集金ヲ要スル場合ニ於テ豫メ遞信大臣ノ認可ヲ受クルトキハ本規則ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ獲行ニ係ル受領證書ト引換ニ支拂ハルヘキ現金ノ取立及其ノ拂込ニ關スル特別取扱ヲ郵便官署ニ請求スルコトヲ得

第二條　郵便振替貯金加入者前條ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ加入者ノ口座番號、住所氏名、申請ノ要旨等ヲ記載シタル申請書ニ左ノ書類ヲ添ヘ所轄遞信管理局長ヲ經テ遞信大臣ニ差出スヘシ

一　一箇年間ニ於テ取立ヲ要スル件數及金額ノ概算調書但シ取立時期ノ一定シタルモノハ其ノ時期及各其ノ期ニ於ケル件數及金額ノ內譯ヲ要ス

二　支拂入ノ府縣別ニ依ル入員調書

三　支拂入ニ交付スヘキ受領證書ノ雛形但シ受領證書ハ附錄樣式ニ倣ヒ振替貯金拂込書ニ使用スヘキ部分ノ具備スルコトヲ要ス

四　加入者ト支拂入トノ關係ヲ規定シタルモノアルトキハ其ノ書類

第三條　本規則ニ依ル特別取扱ニ關シテハ左ノ區別ニ依ル料金ヲ一箇月分宛取纏メ加入者ノ貯金ヨリ控除徵收ス

一　郵便集金ノ取立委託ニ對シテハ其ノ件數ニ應シ一口ニ付二錢ノ割合ニ依ル料金ヲ徵收ス

二　現金取立濟ノ金額ニ對シテハ一口ノ金高ニ應シ左ノ割合ニ依ル料金ヲ徵收ス

一圓迄	三錢
三圓迄	四錢
五圓迄	五錢
十圓迄	六錢
五十圓迄	八錢
百圓迄	十錢

以上百圓迄ヲ增ス每ニ五錢ヲ加徵ス

第四條　第一條ノ認可ヲ受ケタル加入者郵便集金ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ受領證書用紙ニ相當事項ヲ記入シタル上之ニ郵便集金請求書ヲ添ヘ指定郵便局ニ差出スヘシ

第五條　前條ノ請求ニ對シテハ郵便局ニ於テ隨時支拂入ノ居宅ニ就キ受領證書ト引換ニ現金ノ取立ヲ爲シ其ノ現金ハ之ヲ加入者ノ振替貯金口座ニ拂込ノ手續ヲ爲ス

第六條　左ノ場合ニ於テハ集金不能ノモノト看做シ受領證書ハ之ヲ加入者ニ返付ス但シ第三號ノ場合ニ於テ支拂入ノ轉居先同一郵便區內又ハ同一行政市區內ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

一　受領證書到達ノ日ヨリ三十日間內ニ三回以上ノ取立ヲ試ムルモ取立ヲルコト能ハサルトキ

二　支拂入ニ於テ之カ支拂ヲ拒ミタルトキ

三　支拂入轉居シタルトキ

附　則

本令ハ明治四十三年十一月十六日ヨリ之ヲ施行ス

本令ノ適用ヲ受クヘキ地域及集金ノ種類ハ當分ノ內別ニ之ヲ告示ス

許可 8217 本文

郵便集金受領證書

（附錄樣式）

郵便集金

監査票

局番	受付番號
口座番號	
加入者氏名	
一金	
支拂人氏名	

受付局日附印

郵便集金

拂込票

口座番號	
加入者氏名	
一金	
支拂人住所氏名	

受付局日附印

郵便集金

拂込通知票

口座番號	
加入者氏名	
一金	
支拂人住所氏名	

受付局日附印

郵便集金

受領證書

振替貯金口座番號	日附印欄
何々番號	
一金	何々

右領收候也

明治　年　月　日

縣郡町番地

何某印

殿

注意（受領證書ノ部ハ振替貯金口座番號及日附印ノ欄ヲ除クノ外其ノ樣式及記載事項ヲ變更スルモ妨ナシ）

用紙　西洋紙　縱五寸三分　橫一尺二寸

（監査票、拂込票及拂込通知票ハ縱四寸三分橫二寸四分（內法）受領證書ハ縱四寸三分橫三寸（內法））

寸法

遞信省令第百八號

明治三十七年二月勅令第十九號ニ依ル軍事郵便物ハ自今朝鮮又ハ淸國ニ在リテ現ニ陸海軍ノ勤務ニ服スル下士兵卒ノ差出スモノニ限リ左記各號ニ依リ之ヲ取扱フ

一、軍事郵便物ハ重量四瓦以內ノ第一種通常郵便物ニ限ル

二、軍事郵便物ハ一人ニ付一月二通ヲ限リ差出スコトヲ得

三、軍事郵便物ニハ其ノ表面ニ軍事郵便證票ヲ貼付スヘシ

四、軍事郵便證票ハ三錢郵便切手ニ「軍事」ノ文字ヲ印刷シタルモノトシ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ交付ス

本令ハ明治四十三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一月十日

遞信大臣　男爵後藤新平

陸軍大臣　子爵寺內正毅

海軍大臣　男爵齋藤　實

遞信省令第百九號

明治三十七年五月遞信省令第三十七號ハ之ヲ廢止ス

本令ハ明治四十三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一月十日

遞信大臣　男爵後藤新平

○府令

關東都督府令第二十三號

大連港則左ノ通定ム

明治四十三年十月二十六日

關東都督　子爵大島義昌

大連港則

第一條　黃白嘴ノ外端ヨリ和尙島ノ東端東嘴子ニ至ル一線以西ノ水域ヲ大連港トス

第二條　港內ヲ分チテ左ノ三區トス

大連區　黃白嘴ノ外端ヨリ北長山ニ向テ引キタル一線ノ西南水域

柳樹屯區　前項一線ノ北長山南東岸ニ達シタル處ヨリ和尙島ノ東南外端ニ至ル一線以北ノ水域

放泊區　大連區及柳樹屯區ノ中間ノ水域

第三條　大連區及柳樹屯區ヲ分チテ左ノ六區トス

第一區　濱町以東及同棧橋ニアル綠燈ト同埠頭ニアル紅燈トヲ一直線ニ北方ニ引キタル一線以東ノ水域

第二區　臭水屯煙突ヨリ南六十八度東ニ引キタル一線以南ト第一區西界線以西ノ水域

第三區　第二區以北ノ水域

第四區　老龍頭ノ外端ヨリ棉花島角ニ向テ引キタル一線以西ノ水域

第五區　棉花島角ヨリ黃娘子角ニ向テ引キタル一線以北ノ水域

第六區　第四區第五區以外ノ水域

第四條　放泊區ヲ船舶ノ自由泊地トシ第三區ヲ危險物荷役泊地トシ其ノ他ノ區域ヲ一般貨物ノ荷役泊地トス

第五條　柳樹屯區ニ進航セムトスル船舶ハ豫メ海務局長ノ許可ヲ受クヘシ

第六條　船舶入港ノ場合ハ港外ヨリ泊地ニ就ク迄、出港ノ場合ハ泊地ヲ離ルルトキヨリ港外ニ出ツル迄晝間ハ國旗及萬國船信號ニ依リ船名ヲ表示シ夜間ハ所定ノ燈火ヲ揭ケヘシ港內運航ノトキ亦同シ

第七條　入港船舶ハ放泊區ニ假泊シ海務局官吏ノ臨檢ヲ受ケ第一號書式ノ交通許可證ヲ受クルニ非サレハ陸地又ハ他船ト交通シ船客船員ノ上陸物件ノ陸揚ヲ爲スコトヲ得ス但シ關東州沿岸ノミヲ航行スル船舶ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　總噸數一千噸以上ノ船舶ハ水先人ノ水路嚮導アルニ非サレハ水先區ニ出入スルコトヲ得ス但シ海務局長ニ於テ必要ナシト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

總噸數一千噸未滿ノ船舶ト雖モ海務局長ニ於テ必要ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依ラシムルコトヲ得

水先區ハ東防波堤ノ北端ヨリ北防波堤ノ東端及西端ヲ經テ濱町埠頭ノ東端ニ至ル線內ニ包含シタル水域トス

第九條　船舶ハ著港後二十四時間以內ニ船舶國籍證書若ハ之ニ代ルヘキ證書及船員名簿ヲ添ヘ第二號書式ノ著港屆ヲ海務局ニ提出スヘシ

前項ニ依リ提出シタル船舶ノ書類ハ出港手續ヲ終ル迄海務局ニ保管スルモノトス

第十條　船舶ハ出港一時間前迄ニ第三號書式ノ出港屆ヲ海務局ニ提出シ第四號書式ノ出港許可證ヲ受クルニ非サレハ出港スルコトヲ得ス

前項ノ船舶ハ出港二十四時間前ヨリ出帆旗ヲ前檣頭ニ揭クヘシ但シ支那形船及其ノ他ノ小型船ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　入港後二十四時間以內ニ出港セムトスル船舶及關東州沿岸ノミヲ航行スル船舶ハ著港屆ノ外船長又ハ其ノ代理者ヨリ保證狀ヲ提出シ第九條ニ規定セル書類ニ代フルコトヲ得

第十二條　出港許可證ヲ受ケタル後二十四時間以上碇泊スル船舶ハ更ニ第九條及第十條ノ手續ヲ爲スニ非サレハ出港スルコトヲ得ス但シ荷役ヲ爲ササル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　支那形船及小型船ハ第五號書式ノ著港屆及第六號書式ノ出港屆ヲ海務局ニ提出シ第九條第十條及第十一條ニ規定セル手續ニ代フルコトヲ得

第十四條　海務局ニ於テ指定シタル地點ノ外貨物ノ積卸ヲ爲シ又ハ船客船員ノ上陸若ハ乘船ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條　埠頭ニ著發スル船舶ニ非サレハ北防波堤ト埠頭間ノ水道ヲ運航シ又ハ碇泊スルコトヲ得ス但シ特ニ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　海務局長ニ於テ必要ト認ムルトキハ船舶ノ泊地ヲ指定シ若ハ變更ヲ命シ又ハ船舶ノ運航ヲ停止スルコトヲ得

第十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル船舶ハ入港前ヨリ第一號書式ノ交通許可證ヲ受クルマテ檢疫信號ヲ揭クヘシ

一　現ニ傳染病者若ハ之ニ疑ハシキ患者又ハ死者アル者

二　航海中傳染病者若ハ之ニ疑ハシキ患者又ハ死者アリタルモノ

三　傳染病流行地ヲ發シ又ハ其ノ地ヲ經テ來航シ若ハ傳染病毒ニ汚染シタル船舶ト交通シ其ノ他傳染病毒ニ汚染シタル疑アルモノ

檢疫信號ハ晝間ハ船舶ノ前檣頭ニ黃旗ヲ揭ケ夜間ハ同所ニ紅白二燈ヲ上下ニ連揭スルモノトス

第十八條　傳染病ト稱スルハ虎列剌、痘瘡、猩紅熱、「ペスト」ヲ謂フ

入港後前條ノ傳染病及赤痢、腸窒扶私、パラ窒扶私、發疹窒扶私、實布垤利亞若ハ之ニ疑ハシキ患者ヲ發生シタルトキハ檢疫信號ヲ揭ケ海務局官吏ノ指揮ヲ受ケ更ニ第一號書式ノ交通許可證ヲ受クルニ非サレハ陸地又ハ他船ト交通シ船客船員ノ上陸物件ノ陸揚ヲ爲スコトヲ得ス入港後傳染病毒ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル事實ヲ發見シタルトキ亦同シ

第十九條　海務局長ニ於テ必要ト認ムルトキハ船內ニ臨檢シ船員及船客ノ健康診斷ヲ施行スルコトヲ得

第二十條　牛羊及其ノ他ノ獸類又ハ其ノ死體、生肉、皮革、毛骨類及著港屆第二十二項ニ揭ケタル物件ヲ搭載セル船舶ニ對シ海務局長ニ於テ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ臨檢シ消毒又ハ隔離其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　海務局長ハ船舶ニ對シ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一　現ニ傳染病患者若ハ死者アルモノハ停船ヲ命シ患者死者ノ處分ヲ指示シ船舶其ノ他ノ物件ノ消毒方法若ハ鼠族ノ驅除ヲ施行シ且必要アリト認ムルトキハ一定ノ期間船客船員ヲ檢疫所又ハ船內ニ停留スルコト

二　航海中傳染病患者若ハ死者アリタルモノハ停船ヲ命シ患者死者ノ處分ヲ指示シ船舶其ノ他ノ物件ノ消毒方法若ハ鼠族ノ驅除ヲ施行シ且必要アリト認ムルトキハ一定ノ期間船客船員ヲ檢疫所又ハ船內ニ停留スルコト

三　傳染病流行地ヲ發シ又ハ其ノ地ヲ經テ來航シ若ハ其ノ船舶ニ傳染病毒ノ汚染シタル疑アルモノハ必要アリト認ムルトキ第一號ノ規定ニ準シ處分スルコト

四　停船中傳染病患者ヲ發生シタルトキハ更ニ第一號ノ規定ニ依リ處分スルコト

五　船客船員中傳染病有菌者アリタルトキハ第一號ノ規定ニ準シ處分スルコト

六　必要ト認ムルトキハ消毒ノ爲指定ノ地點ニ迴航ヲ命スルコト

七　傳染病ノ疑アル患者アルトキハ二日ヨリ多カラサル期間停船ヲ命スルコト

許可 8217

八　發航地若ハ寄港地ノ狀況又ハ船舶ノ狀態ニ依リ消毒方法又ハ鼠族ノ驅除ヲ施行スルコト

第一號ノ停船期間ハ消毒ノ施行ヲ終リタル時ヨリ起算シ「ペスト」ハ十日間虎列剌ハ五日間トス但シ第三號ノ場合ニ於テハ傳染病流行地ヲ發シ又ハ其ノ地ヲ經過シ若ハ傳染病毒ニ汚染シタリト疑フヘキ事實アリタル時ヨリ起算ス

第二十二條　船舶物件ノ消毒費、停留人ノ食費患者、死者ニ關スル費用ハ船長又ハ其ノ代理者ヨリ之ヲ納付スヘシ

第二十三條　船舶ハ健全證書ノ交付ヲ海務局ニ申請スルコトヲ得

前項ノ申請アリタルトキハ海務局長ハ其ノ船舶ノ健康狀態ヲ檢閱シ第七號書式ノ健全證書ヲ交付スヘシ

第二十四條　船舶ニシテ常用外ノ爆發物若ハ容易ニ燃燒スヘキ物件ヲ搭載セルトキハ晝間ハ赤旗夜間ハ紅燈又ハ見易キ場所ニ揭ケ放泊區ニ在テ海務局官吏ノ指揮ヲ受クヘシ但シ特ニ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ爆發物ト稱スルハ「プラスチングゼラチン」、彈藥包、爆發管、「ダイナマイト」、「煙火」、導火管、「ゼリグナイト」、「ナイトログリセリン」、火藥、棉火藥、無煙火藥、雷管ノ類ヲ謂ヒ容易ニ燃燒スヘキ物件ト稱スルハ生石油（ブルマ油ランク油ワ）石油、ナフタ」的列竝底油、依的兒偏蘇爾、石油偏陳、「アセトン」、酒精及硫化炭素ノ類其ノ他華氏九十五度以下ノ熱度ニ四リ發火スヘキ氣體ヲ發スルモノヲ謂フ

船舶ニ備附タル大砲一門毎ニ火藥五十發分導火管類七十箇小銃一挺毎ニ彈藥百發分雷管百五十箇及積載船舶相當量ノ信號用榴彈、火箭、煙管、救命銃等ニシテ適當ニ格納セラレタルモノヲ除クノ外爆發質ノ物件ハ總テ之ヲ常用外ト看做ス

容易ニ燃燒スヘキ物件ハ船舶所用ノ目的ヲ證明シ得ルモノノ外總テ之ヲ常用外ト看做ス

第二十五條　前條ニ規定セル爆發物若ハ容易ニ燃燒スヘキ物件ヲ積卸セムトスル船舶ハ其ノ品名數量ヲ海務局ニ屆出テ特ニ指定セラレタル場所ニ就キタル後ニ非サレハ之ヲ取扱フコトヲ得ス

前項ノ物件ヲ搭載セル船舶ハ在港中前條ニ規定セル赤旗又ハ紅燈ヲ揭クヘシ

第二十六條　火氣ヲ有スル汽艇又ハ端舟ニシテ赤旗又ハ紅燈ヲ揭揚スル船舶ノ近傍ヲ運航スル場合ニハ安全ナル距離ヲ保チ成ルヘク風下側ヲ運航スヘシ若止ムヲ得ス風上側ヲ運航スル場合ニハ充分安全ナル距離ヲ保ツヘシ

第二十七條　港內ニ於テハ海務局長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ火器又ハ爆發物ノ發射發火ヲ爲スコトヲ得ス

第二十八條　曳船ヲ爲ス場合ハ海務局長ノ許可ヲ受ケタルトキノ外左ノ制限ニ從フヘシ

一　端舟及荷舟ヲ曳クトキハ曳船ノ船尾ヨリ最後ノ被曳船ノ後端ニ至ル迄ノ距離ハ六十間ヲ超ユヘカラス竹木、筏其ノ他ノ物件ヲ曳クトキ亦同シ

二　端舟及荷舟ハ前號ノ距離ヲ超ヘサル限リ二隻ツヽ竝列シテ曳クコトヲ得

三　航洋船ヲ曳ク場合ハ一隻ヲ超ユヘカラス

第二十九條　碇泊中ノ船舶ハ其ノ後端ニ艀舟、竹木其ノ他ノ物件ヲ繫留シ水路ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第三十條　港內ニ於テ多數ノ竹木、筏其ノ他ノ物件ヲ水上ニ卸サムトスルトキ又ハ繫留若ハ運航セムトスルトキハ海務局長ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ夜間ハ海上衝突豫防法第五條第十條及第十一條ノ規定ニ準シ燈火ヲ揭クヘシ

第三十一條　船舶ハ第一區第二區第四區第五區ノ水域ニ於テハ機橋又ハ浮標ニ繫留スル場合ヲ除クノ外雙錨ヲ投シテ碇泊スヘシ錨ニハ浮標ヲ附スヘカラス但シ海務局長ニ於テ雙錨泊ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條　汽艇、浮船、端舟、支那形船及其ノ他ノ小迴船ハ航洋船ノ航路ヲ避クヘシ

第三十三條　第一區第二區及輻輳セル船舶ノ近傍ヲ運航スル船舶ハ針路ヲ保ツニ必要ナル速力ニ止ムヘシ

前項ノ船舶ハ總テ追越ヲ爲スヘカラス但シ汽艇其ノ他ノ小迴船ニシテ危險ノ虞ナキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條　港內ニ於ケル左記事項ニ關シテハ許可ヲ受クヘシ

一　海面ノ埋立及浚渫

二　防波堤、埠頭又ハ機橋ノ築造又ハ變更

三　浮標立標其ノ他ノ航路標識ノ設置又ハ變更

四　下水吐出口其ノ他海面又ハ海底ニ於ケル工作物ノ施設又ハ變更

五　漁撈採藻又ハ生簀ノ施設

第三十五條　港內ニ於テ濫リニ水泳ヲ爲スヘカラス但シ特ニ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條　繫留ノ爲設置シタル浮標其ノ他ノ營造物ノ外船舶其ノ他ノ物件ヲ繫留スルコトヲ得ス

第三十七條　浮標立標其ノ他ノ營造物ヲ毀損又ハ滅失セシメタルトキハ其ノ損害ハ船舶ニ在リテハ當該船長ヲシテ之ヲ辨償セシム

第三十八條　港內ノ海面及其ノ海岸竝之ニ注入スル水流ニハ塵芥其ノ他ノ物件ヲ委棄スルコトヲ得ス但シ荷足其ノ他土砂ノ類ヲ放棄セムトスルトキハ海務局ノ指揮ヲ受クヘシ

船舶ニシテ塵芥、灰燼其ノ他ノ物件ヲ處分スル爲碇船ヲ要スルトキハ萬國船舶信號ノF旗又ハ籃ヲ揭クヘシ

前項碇船ニ要スル費用ハ船長ノ負擔トス

第三十九條　石炭其ノ他海底ニ堆積スヘキ虞アル物件ヲ積卸スルトキハ之ヲ水中ニ墜落セサルコトニ注意スヘシ

第四十條　船舶ハ海務局官吏及警察官吏ノ臨檢ヲ拒ムコトヲ得ス

第四十一條　在港中ノ船舶警察官吏ノ救援ヲ要スル場合ハ晝間ハ萬國船舶信號ノG旗ヲ揭ケ夜間ハ藍灯又ハ閃灯ヲ示スヘシ

第四十二條　在港中ノ船舶灯ヲ失シタルトキハ時鐘若ハ之ニ類似ノ振鳴器ヲ連打シ又ハ汽笛ヲ連吹シ晝間ハ萬國船舶信號ノNM旗ヲ揭ケ夜間ハ號灯、灯箭等ヲ用井見易キ發灯信號ヲ爲シ且斷ヘス紅燈ヲ上下スヘシ船舶危急ノ場合ニ遭遇シ救助ヲ要スルトキ亦同シ但シ晝間ハ萬國船舶信號ノNC旗ヲ揭クヘシ

第四十三條　海務局長ハ港內ニ於テ船舶ニ危害ヲ及ホスノ虞アル難破物、委棄物其ノ他ノ物件ハ期間ヲ指定シ義務者ヲシテ之ヲ取除カシメ又ハ破壞セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ義務者其ノ義務ヲ履行セサルトキハ海務局長自ラ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ執行セシメ其ノ費用ハ義務者ヨリ之ヲ徵收スルコトヲ得

第四十四條　本令ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

船舶ニ在リテハ前項ノ規定ハ船長又ハ艦長ニ代ハリ其ノ職務ヲ行フ者ニ之ヲ適用ス

前項ニ依リ科シタル罰金又ハ科料及本令ニ據リ負擔スヘキ費用ヲ完納スルカ又ハ相當ノ擔保物ヲ提供スルニ非サレハ其ノ船舶ノ出港ヲ許サス

第四十五條　第四條第八條第十五條第十六條第三十一條第三十二條第三十六條第三十八條第四十二條ノ規定ハ內外國軍艦ニ之ヲ準用ス

第四十六條　內外國軍艦ニシテ入港ノ際第一項各號ニ該當スル事實ナキトキハ其ノ艦長又ハ醫官ヨリ書面ヲ以テ海務局官吏ニ其ノ旨ヲ明告スヘシ

第四十七條　內外國軍艦ニシテ入港ノ際第十七條第一項各號ニ該當スル事實アルトキハ放泊區ニ假泊シ檢疫信號ヲ揭クヘシ入港後傳染病患者ヲ發生シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ海務局官吏ハ艦長ト協議シ本令ノ規定ニ準シ處分スルモノトス

附　則

本令ハ明治四十三年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年府令第七十四號大連港港則ハ之ヲ廢止ス

（第一號書式）

海務局

Marine Office, Kuantun Government.

證可許通交
Communication Permit.

交付年月日 Date Delivered .....

國籍、船種、船名
Flag, Rig, Name of Vessel .....

船長氏名
Name of Master .....

許可港
Port Permitted .....

臨檢官吏
Inspecting Officers .....

.....

（第二號書式）

（表）

一　船舶種類及名稱
二　國籍及船籍港名
三　積量（登簿噸數）
四　長及喫水（長呎）
五　船舶所有者
六　代理店
七　船客員數

內譯
一等船客　名
二等船客　名
三等船客　名
其ノ他ノ船客　名
計　名
合計　名
乘組員ノ員數　名
事務員以上ノ船員　名
水夫雜役夫　名

八　發航地及發航年月日
九　寄港地及寄港年月日
十　爆發物若ハ容易ニ燃燒スヘキ物件搭載ノ有無若アラハ其ノ品名數量
十一　航海中ニ於ケル海難又ハ危險物等ノ發見其ノ他異狀ノ有無
十二　航海中出生犯罪者ノ有無
十三　航海中寄港中及現在船中ニ「ペスト」虎列剌、痘瘡、猩紅熱又ハ該病疑似症患者及其ノ他病者死者ノ有無若アラハ其ノ病名
十四　航海中寄港中第十四項ニ揭ケル患者アリタル船舶又ハ疑ハシキ船舶ト交通ノ有無
十五　港海中寄港中及現在船中ニ鼠族ノ有無
十六　他港ニ於テ檢査消毒ヲ船ノ有無
十七　飲料水ヲ汲入レ又ハ食料ヲ積入レタル地名
十八　獸類又ハ皮骨類搭載ノ有無若アラハ其ノ種類數量及搭載地名
十九　航海中寄港中及現在船中ニ病獸又ハ斃獸ノ有無
二十　航海中寄航中獸疫ヲ發生シタル船舶又ハ疑ハシキ船舶ト交通ノ有無
二十一

許可 8217 号

（第二號書式別冊）

船　丸　著港年月日　明治　年　月　日午前後時

船主氏名

船客明細書

乘船地	等級	國籍	族籍身分	住所	職業	男女別	氏名	年齡
國	等	縣府				男女		歲
國	等	縣府				男女		歲
國	等	縣府				男女		歲

（第二號書式別表）

表物貨入輸

Import Cargo List.

大連　明治　年　月　日
Dairen,.....191..

國籍、船種
Flag, Rig.....

船名
Vessel's Name.....

品名 Articles.	噸數 Tonnage.	積載港 Where shipped.	摘要 Remarks.
穀類 Grain.			
食料品 Provision.			
機械類 Machinery.			
木材 Timber.			
セメント Cement.			
建築橋梁等ノ材料 Materials for Building & Bridge Construction etc.			
綿絲 Cotton yarn.			
綿布 Cotton Tissue.			
綿花 Cotton.			
燃料 Fuel.			
雜品 Miscellaneous.			
合計 Total.			

船　丸船員名簿　明治　年　月　日

原籍 縣府 郡市 町村	職名	氏名	年齡
			歲

（第三號書式）

出港屆

一　國籍、船種及名稱　國籍　船種　丸

二　仕向港

三　著港地

四　船客員數

五　積荷ノ種類噸數

右明治　年　月　日午　時　分出港候間此ノ段及御屆候也

明治　年　月　日

船長

關東都督府海務局宛

（第三號書式別册）

船　丸　出港年月日　明治　年　月　日午前後時

船主氏名

船客明細書

上陸地	等級	國籍	族籍身分	住所	職業	男女別	氏名（船客ノ上陸地等現國籍住所及職業ハ別冊トシテ添附スヘシ）	年齡
國	等	縣府				男女		歲
國	等	縣府				男女		歲
國	等	縣府				男女		歲

（第三號書式別表）

表物貨出輸

Export Cargo List.

大連　明治　年　月　日
Dairen,.....191..

國籍、船種
Flag, Rig.....

船名
Vessel's Name.....

品名 Articles.	噸數 Tonnage.	陸揚港 Where landing.	摘要 Remarks.
豆類 Bean.			
穀類種子 Grain. Seed.			
豆油 Bean oil.			
豆粕 Bean Cake.			
石炭 Coal.			
雜品 Miscellaneous.			
合計 Total.			

（第四號書式）

關東都督府海務局

Marine Office, Kuantung Government.

出港許可證

Port Clearance.

番號
No.....

交付年月日
Date Delivered .....

國籍、船種、船名
Flag, Rig, Name of Vessel .....

船長氏名
Name of Master .....

仕向港
Port of Destination.....

寄港地
Intermediate Port of Call.....

發航地
Port of Departure.....

（第五號書式）

單第　號

帆船著港屆

仕出港（所發航港）

一船名　（船長氏名 / 船員數 / 發屆）

一船主原籍氏名　（屆出人代理者氏名 / 入港日時 明治 年 月 日午 時）

關東都督府海務局御中

（第六號書式）

單第　號

帆船出港屆

仕向港（所到著港）

一船名　（船長氏名 / 船員數（發屆） / 屆出人代理者氏名 / 出港日時 明治 年 月 日午 時）

關東都督府海務局御中

輸入貨物品目	箇數及噸數	備考

輸出貨物品目	箇數及噸數	備考

（第七號書式）

健全證書

現時當港ニハ傳染病ノ流行無之且本日出港（船名）ノ健康狀態良好ナルコトヲ證明ス

明治　年　月　日

關東都督府海務局長

關東都督府令第三十四號

大連港水先規則左ノ通定ム

明治四十三年十月二十六日　關東都督　子爵大島義昌

大連港水先規則

第一條　水先人ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ關東都督ノ水先免狀ヲ享有スル者ヲルコトヲ要ス

一　二年以上總噸數千噸以上ノ航洋船ニ乘組ミ船長ノ職ヲ執リタル者

一　一年以上總噸數五百噸以上ノ航洋船ニ乘組ミ船長ノ職ヲ執リ且ツ一年以上大連港水先區ニ於テ水先ノ實務ヲ練習シタル者

第二條　水先免狀ヲ享有セムトスル者ハ申請書ニ履歷書及其ノ證明書ヲ添ヘ海務局ヲ經由シ關東都督ニ提出スヘシ

第三條　關東都督ハ前條ノ申請ニ依リ其ノ資格ヲ審査シ適當ト認メタルトキハ別記書式ノ水先免狀ヲ交付ス

第四條　水先人ノ定員ハ當分ノ內三人トス

第五條　水先人其ノ業務ニ從事スルトキハ水先免狀ヲ携帶スヘシ

第六條　水先人ハ豫メ事務所ノ位置及業務ニ關スル規定ヲ設ケ海務局長ノ認可ヲ受クヘシ

第七條　水先人ヲ要スル艦船ハ口頭又ハ萬國船舶信號ノPT旗ヲ掲ケ水先人ヲ水先人事務所ニ請求スヘシ

第八條　前條ノ請求アリタルトキハ水先人ハ遲滯ナク當該艦船ニ乘船シ水路嚮導ニ繫留又ハ解纜ノ任ニ當ルヘシ

第九條　水先人ヲ要シタル艦船長ハ船名、國籍、總噸數、所有者名代理店名、出入當時ノ各喫水及日時ヲ記載シ記名調印シテ之ヲ水先人ニ提供スヘシ

許可 8217 水先

第十條　水先人ヲ要スル總船長ハ豫メ運航及操縱ニ關スル準備ヲ整ヘ之ニ要スル一切ノ勞力ヲ水先人ニ提供スヘシ

第十一條　水先人ハ毎年六月及十二月末日迄ニ水先ヲ爲シタル艦船ノ名稱、國籍所有者總噸數及喫水ヲ記載シタル營業報告書ヲ海務局ニ提出スヘシ

第十二條　水先免狀ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキ又ハ水先免狀ヲ滅失若ハ毀損シタルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ書換又ハ再交付ノ申請ヲ爲スヘシ

第十三條　水先人廢業セムトスルトキハ海務局ニ屆出ヘシ

第十四條　水先人左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ水先人タルノ資格ヲ失フ

一　懲役若ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二　家資分散若ハ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキ

三　身體ノ機能ニ故障ヲ生シ業務ヲ營ムコト能ハサルニ至リタルトキ

四　水先免狀ノ行使ヲ禁止セラレタルトキ

前項ノ場合ニ於テ水先人ハ遲滯ナク水先免狀ヲ海務局ニ返還スヘシ廢業シタルトキ亦同シ

第十五條　水先人ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムヘシ

一　免狀ヲ受クルトキ　金十圓

二　免狀ノ書換又ハ再交付ノトキ　金一圓

手數料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

第十六條　水先人其業務上ノ義務ニ違背シ又ハ之ヲ怠リタルトキ又ハ信用ヲ失フヘキ行爲アリタルトキハ水先人懲戒委員會ノ裁決ヲ以テ之ヲ懲戒ス

懲戒ハ左ノ三種トス

一　免狀行使ノ禁止

二　免狀行使ノ停止

三　譴責

免狀行使ノ停止ハ一月以上三年以下トス

水先人懲戒委員會ノ組織及懲戒ノ手續ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　水先人ニシテ其ノ業務ヲ怠リ因テ航路標識其ノ他ノ營造物ヲ毀損又ハ沈沒セシメタル者

二　水先人ニ非スシテ水先區ニ於テ水路ヲ嚮導シタル者

三　水先免狀行使ノ停止中水先人ノ業務ヲ營ミタル者

四　水先免狀ヲ貸付シ之ヲ行使セシメタル者

五　第八條ニ違反シタル者

六　正當ノ理由ナクシテ水先人ノ乘船ヲ拒ミタル者

第十八條　本令第五條第六條第十條第十一條第十二條第十三條第十四條第二項及第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

第十九條　本令ニ於テ船長ニ關スル規定ハ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ之ヲ適用ス

附則

本令ハ明治四十三年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記書式）

（表面）

水先免狀

氏名

明治四十三年十月關東都督府令第三十四號大連港水先規則第三條ニ依リ之ヲ授與ス

明治　年　月　日

關東都督名

（備考）本免狀ハ堅八寸橫一尺二寸トス

（裏面）

PILOTAGE LICENSE.

This is to certify that.....

is licensed as a pilot according to Art. III of the Dairen Pilotage Regulations of the Kuantung Government Ordinance No. 34 issued in the 43rd year of Meiji.

Issued.....

Kuantung Governor-General.

關東都督府令第三十五號

旅順港取締規則及大連港則ニ依ル船舶物件ノ消毒費、停留人ノ食費、患者、死者其ノ他ニ關スル費用及手數料左ノ通定ム

明治四十三年十月二十六日　關東都督　子爵大島義昌

船舶消毒費

登簿噸數百噸未滿	二十圓
同百噸以上一千噸未滿	四十圓
同一千噸以上二千噸未滿	六十圓
二千噸以上一千噸未滿ヲ增ス每ニ二十圓ヲ加フ	
局部消毒費ハ各其ノ四分ノ一トス	

積荷消毒費　一箇ニ付　三十錢

船客船員ノ衣服手荷物所持品ノ消毒費

一等船客及之ニ準スヘキ船員一人分ニ付　一圓

二等船客及之ニ準スヘキ船員一人分ニ付　二十錢

三等船客及之ニ準スヘキ船員一人分ニ付

檢疫所ニ移轉セシメタル者ノ食費

	洋食	清國人
一等船客及之ニ準スヘキ船員一人一日分ニ付	二圓	
二等船客及之ニ準スヘキ船員一人一日分ニ付	一圓	六十錢
三等船客及之ニ準スヘキ船員一人一日分ニ付		四十錢

同一日ニ充タサルトキハ一日分ノ三分一ヲ以テ一食分トシ計算ス

患者死者ニ關スル費用

患者費　一人一日分ニ付　五十錢　實費

死者ニ關スル費用

畜類ノ隔離停留其ノ他ノ費用　實費

輸出入制限品（襤褸、古繩、古麻袋等）ノ消毒費及消毒證明書交付手數料

消毒物品

消毒證明書交付手數料	一箇ニ付　五錢
船舶發著證明及其ノ他ノ手數料	一通ニ付　五十錢
健全證書交付手數料	一通ニ付　五十錢
	一通ニ付　五圓

附則

本令ハ明治四十三年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○訓令

陸軍省訓令第三十號

明治四十三年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通增設ス　陸軍一般

明治四十三年十一月十日　陸軍大臣　子爵寺內正毅

歲出經常部

款	項	目	節
軍事費			
	修繕費		

△印增設

官報　第八二一七號　明治四十三年十一月十日（第三種郵便物認可）

第8217号　官報

○告示

鐵道院告示第百三號

明治四十三年十一月二十一日ヨリ北海道函館本線小樽朝里間ニ小樽築港停車場ヲ設置シ一般運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通

明治四十三年十一月十日　鐵道院總裁　男爵後藤新平

哩程	一哩四分	小樽築港朝里間	一哩八分

司法省告示第六十四號

富崎地方裁判所管內鉄肥區裁判所ニ備ヘアル南那珂郡吾田村大字戸高土地登記簿第一册ノ內登記番號第一號乃至第五號、第七號乃至第十八號ノ登記用紙蟲害ニ罹リ滅失シタリ

滅失シタル登記用紙ニ登記ヲ受ケタル者又ハ同區裁判所ニ對シ登記ニ關スル通知若クハ囑託ヲ爲シタル官廳、公署ハ明治四十四年二月末日マテニ登記同復ノ申請ヲ爲シ又ハ通知若クハ囑託ヲ爲スヘシ

前項ニ定メタル期日マテニ登記ノ同復ヲ申請シ又ハ其囑託ヲ爲ストキハ登記シタル權利ハ仍ホ前登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘシ

明治四十三年十一月十日　司法大臣　子爵岡部長職

文部省告示第二百三十號

岐阜縣女子師範學校ヲ同縣稻葉郡加納町大字西加納字一丁目ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十三年十一月十日　文部大臣　小松原英太郎

文部省告示第二百三十一號

兵庫縣赤穗郡高田村ニ設置セル上郡村外五箇村學校組合立上郡乙種農業學校ノ名稱ヲ兵庫縣赤穗郡上郡村外五箇村組合立上郡農業學校ト變更ノ件認可セリ

明治四十三年十一月十日　文部大臣　小松原英太郎

農商務省告示第六百十一號

左記箇所ノ開墾ヲ爲サムトスル者ハ長野縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

明治四十三年十一月十日　農商務大臣　男爵大浦兼武

字	地番	面積
長野縣北安曇郡美麻村		
町段歩		五五〇〇
千金寨守備隊練兵場		
洗濯場其他修繕		
歩兵第三十二聯隊		
領洗洗濯所修繕		
陸軍倉計監督部用		
屋模様替		

明治四十三年十一月十日ヨリ同月十八日迄左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
大門郵便局	島縣深安郡大津野村

遞信省告示第千二百三十一號

遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ同月十八日迄施行ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

農商務省告示第六百十二號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十三年十一月十日　農商務大臣　男爵大浦兼武

字	地番	面積
茨城縣鹿島郡夏海村大字神山		
神山	二、一四三	二、一四四
同	二、一四四	二、一二二

同行方郡潮來村大字瀧澤

小里	三八	三、一〇〇
西一丁目	二五ノ二	一、九〇〇

以上所有者國

本文

「備後國鹿品郡戸河内村字神谷川ノ項ノ次ニ
備後國深安郡大津野村大字大門（字番地内大字除ク）野々瀬字石橋小字駅東

遞信省告示第千二百三十一號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ同月十八日迄施行ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
神邊姫路間	金四十錢
神邊倉敷（字番地内）間	金二十錢
神邊玉島間	金二十五錢
神邊西大寺間	金二十五錢
神邊撫川間	金二十五錢
神邊總社間	金二十五錢
神邊長岡間	金二十五錢

遞信省告示第千二百三十二號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
信樂郵便局	滋賀縣甲賀郡長野村
名手郵便局	和歌山縣那賀郡名手村

遞信省告示第千二百三十三號

明治三十二年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

「近江國犬上郡豐郷村」ノ項ノ次ニ
近江國甲賀郡長野村大字長野、同江田
「紀伊國東牟婁郡太地村」ノ項ノ次ニ
紀伊國那賀郡名手村大字名手市場、狩宿村
紀伊國那賀郡麻生津村大字北濱、同麻生津中、同横谷、同西脇（字畷岩、同如、同天神原ヲ除ク）

遞信省告示第千二百三十五號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
信樂京都間	金二十錢
信樂大津間	金十五錢
信樂水口間	金十錢
信樂寺庄間	金十錢
名手大阪間	金二十五錢

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
名手和歌山間	金二十錢
名手日方間	金二十錢
名手五條間	金二十錢
名手粉河間	金五錢
名手和歌浦間	金二十錢

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
名手妙寺間	金十錢
名手名倉間	金十錢
名手橋本間	金十五錢
名手麻生津間	金五錢
麻生津大阪間	金二十五錢

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
麻生津和歌山間	金二十錢
麻生津日方間	金二十錢
麻生津五條間	金二十錢

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
麻生津紛河間	金五錢
麻生津和歌浦間	金二十錢
麻生津妙寺間	金十錢

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
麻生津名倉間	金十錢
麻生津橋本間	金十五錢

遞信省告示第千二百三十六號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ同月十八日迄施行ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
倶知安余市間	金二十錢

遞信省告示第千二百三十七號

明治四十年九月遞信省告示第五百七十四號諸外國宛通常郵便物料金表中「一郵便料」「第二郵便聯合外諸國」ノ部ヲ左ノ通改正ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

一第五項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

五ノ二　馬來諸洲（サラワク、ブルネイ及ビ北ボルネオ）（英國保護地）海峡殖民地

一第八項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

八ノ二　マルディヴス（諸島）錫蘭

遞信省告示第千二百三十八號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ同月十八日迄施行ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
大門撫川間	金二十錢
大門總社間	金二十錢
大門長岡間	金二十五錢
大門眞金間	金二十五錢
大門廣島間	金二十五錢
大門福山間	金十錢

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
長岡笠岡間	金二十五錢
長岡總社間	金十五錢
長岡眞金間	金十錢

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
長岡廣島間	金五十錢
長岡福山間	金二十五錢

遞信省告示第千二百三十九號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
小串郵便局	岡山縣兒島郡小串村
田ノ口郵便局	岡山縣兒島郡琴浦村
鉾立郵便局	岡山縣兒島郡鉾立村
山田郵便局	岡山縣兒島郡山田村

遞信省告示第千二百四十號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務及電話通話事務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
山田郵便局	岡山縣兒島郡山田村

遞信省告示第千二百四十一號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
吹屋郵便局	岡山縣川上郡吹屋町

遞信省告示第千二百四十二號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
長吹屋大阪間	金六十五錢
長吹屋神戸間	金六十錢
吹屋岡山間	金二十五錢
吹屋高梁間	金二十錢
吹屋總社間	金二十錢
吹屋成羽間	金十錢
山田（新前）大阪間	金五十五錢
山田（新前）神戸間	金四十五錢
山田（新前）岡山間	金十錢
山田（新前）倉敷（中通）間	金十五錢

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
山田（新前）早島間	金十錢
山田（新前）妹尾間	金十錢
山田（新前）西大寺間	金十錢
山田（新前）天城間	金十錢
山田（新前）味野間	金十五錢
山田（新前）撫川間	金十五錢
山田（新前）八濱間	金五錢
山田（新前）小串間	金十錢
山田（新前）鉾立間	金十錢

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
山田（新前）高松間	金三十錢
鉾立岡山間	金十錢
鉾立倉敷（中通）間	金十五錢
鉾立妹尾間	金十錢
鉾立西大寺間	金十錢
鉾立味野間	金十五錢
鉾立撫川間	金十五錢
鉾立八濱間	金十錢
鉾立小串間	金五錢
鉾立高松間	金三十錢

遞信省告示第千二百四十三號

明治三十二年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

「備前國上道郡財田村」ノ項ノ次ニ
備前國兒島郡鉾立村大字北方、同番田
備前國兒島郡山田村大字山田、同東野崎、胸上村大字西田井地
備中國川上郡吹屋町大字吹屋（字北方本村、同次打、同政屋、同）（病院、同相山、同舟越ヲ除ク）同坂本字布田

遞信省告示第千二百四十四號

軍事郵便ニ關スル從來ノ遞信省告示ハ本月三十日限リ總テ之ヲ廢止ス

明治四十三年十一月十日　遞信大臣　男爵後藤新平

正誤

去月六日農商務省告示第五百三十四號中一三七頁三段三十行、「九六八五」ハ「九六八五八號ノイ號」ニ、四段十二行勝見覺衛ハ勝目覺衛同七日同第五百四十號中一六四頁二段第三十七行「桑畑景藏ハ桑波田景藏三段十七行瀬田長直ハ瀬田長正一六五頁一段初行ニ二五（五八二二二五）二段十七行、六五一五」ハ「六五一五」同十八行、六〇一五」ハ「六〇一四」ノ誤ニ、農商務省記官

同七日同第五百四十號中一六四頁二段九行稻荷ノ上ニ同三十三行河染伊右工門ハ染河伊右工門昨九日遞信省告示第千二百十八號中「當驛郵便局ハ當驛郵便局ノ誤ニ

○敍任及辭令

○明治四十三年十一月九日

敍正四位　　從四位勳二等功二級　島村　干雄
授旭日重光章　　陸軍少將正五位勳二等功三級　渡邊　水哉
陞敍高等官四等　　印刷局技師從六位勳六等　國谷誠之助
陞敍高等官四等　　印刷局技師從六位勳六等　矢野　道也
任大分縣事務官補　　大分縣屬　田島　七郎
敍高等官八等　　竹内　琢磨
任愛媛縣技師　　稅務監督局技手　是野榮二郎
敍高等官六等
兼任京都府技師　　橋都正農夫
敍高等官八等
任青森縣技師　　大分縣屬　河越萬三郎
敍高等官八等
任大分縣南海部郡長　　河越萬三郎
敍高等官八等　　大分縣事務官補　田島　七郎
　　大分縣南海部郡長　福原　俊九

（各通）

五級俸下賜（九十一月內閣）
京都市及岡山縣ヘ出張ヲ命ス（九十一月樞密院）
特旨ヲ以テ位一級被進（九十一月宮內省）
浦潮斯德在勤ヲ免ス
臨時外務省ノ事務ニ從事スルコトヲ命ス
待命中本俸全額ヲ賜フ
奉天總領事館新民府分館在勤ヲ免ス
臨時外務省ノ事務ニ從事スルコトヲ命ス
特命中本俸全額ヲ賜フ（以上九十一月外務省）

（各通）

年俸參拾圓下賜
六級俸下賜
八級俸下賜（以上九十一月內務省）
兵庫縣下ヘ出張ヲ命ス（八十一月大藏省）
免本職補步兵第五十九聯隊大隊長
兒本職補獨立守備第六大隊長

（各通）

印刷局技師　國谷誠之助
印刷局技師　矢野　道也
樞密院議長秘書官　入江　貫一
陸軍少將從四位勳二等功二級　島村　干雄
領事　野村　基信
領事　野村　基信
領事　新國千代橘
副領事　新國千代橘
副領事　新國千代橘
領事　橋都正農夫
青森縣技師　竹内　琢磨
愛媛縣技師

大藏省臨時建築部技師男爵　福原　俊九
獨立守備第六大隊長陸軍步兵少佐　石井　艮吉
步兵第五十九聯隊大隊長陸軍步兵少佐　津久居平吉

官報　第八二一七號　明治四十三年十一月十日（第三種郵便物認可）

非職ヲ命ス　理事　黒澤共輔
御用有之栃木茨城埼玉群馬ノ四縣下ヘ出張ヲ命ス　近衞騎兵聯隊附陸軍三等獸醫　塚越富則
東京市京橋區北紺屋町二十七番地　豐田松五郎
故陸軍步兵二等卒豐田芳太郎明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百拾圓ヲ賜フ（以上十一月九日陸軍省）
吳鎭守府附被仰付（十一月十日海軍省）　海軍機關中佐　水谷千萬吉
補高雄航海長　海軍大尉　竹內正治
免本職　高雄航海長海軍大尉　横山源吉
待命被仰付（但横須賀ニ滯在スヘシ）　海軍大尉　横山源吉
磐手乘組被仰付　海軍機關少尉　中舘統雄
免千代田乘組補第十二驅逐隊附　海軍機關少尉　岩本満藏
津輕乘組被免　海軍機關少尉　井澤長三郎
待命被仰付（但佐世保ニ滯在スヘシ）　海軍機關少尉　井澤長三郎
千代田乘組被仰付　海軍機關少尉　澤村七郎
相摸乘組被免香取乘組被仰付　海軍機關少尉　小山孝路
香取乘組被免津輕乘組被仰付　海軍機關少尉　御宿好
兼補吳海軍工廠砲熕部副部員　吳海軍工廠製鋼部副部員海軍造兵中技士　久芳道雄
補横須賀海軍工廠造機部副部員（以上十一月九日同）　海軍技師　熊井泰助
札幌地方裁判所ヘ出張ヲ命ス（十一月八日司法省）　司法技師　横濱勉
五級俸下賜　鑛山監督署事務官　長満欽司
東京鑛山監督署在勤ヲ命ス　鑛山監督署事務官　長満欽司
鑛山局兼商務局勤務ヲ命ス　農商務書記官　長満欽司
八級俸下賜（以上十一月八日農商務省）　特許局審査官　中松眞卿
郵便貯金局監理部規畫課兼務ヲ命ス（十一月八日遞信省）　郵便貯金局事務官補　坂口覺

○宮廷錄事

○東宮演習御覽　皇太子殿下ハ一昨八日午前七時三十分偕行社御出門愛知郡高針村附近ニ於ケル演習竝ニ和合村ニ向ヒテ爲セル追擊動作御覽午後四時十五分御泊所西加茂郡三好村第一尋常高等小學校ヘ御安著アラセラレタリ

○彙報

○官廳事項

○獨國大使館附學術事務官歸任　曩ニ賜暇歸國セシ在本邦獨逸國大使館附學術事務官ドクトルグロッセ去月三十一日歸任セシ旨同國臨時代理大使ヨリ本月四日附ヲ以テ通知アリ

○官吏發著　曩ニ陸軍大學校參謀演習旅行實視トシテ同演習地ヘ差遣ノ侍從武官上田兵吉ハ一昨八日歸京●横須賀鎭守府及第一第二艦隊聯合小演習實視トシテ同演習地ヘ差遣ノ同關野謙吉ハ昨九日出發セリ

第五師團參謀長新免行太郎ハ機動演習ノタメ岡山縣下ニ向ヒ本月三日、淺田第四師團長ハ第三、第十五兩師團對抗演習見學ノタメ愛知縣名古屋市附近ニ向ヒ石田步兵第十八旅團長ハ秋季演習集合ノタメ京都府龜岡町ニ向ヒ藤本步兵第三十二旅團長ハ步兵第三十七聯隊野外教練實視ノタメ大阪府泉南郡地方ニ向ヒ同六日、山中第十六師團長及同師團參謀長菊池愼之助ハ秋季演習ノタメ京都府及奈良縣下ニ向ヒ同七日、上田近衞師團長及同師團參謀長藤井幸槌ハ秋季演習實視引續キ實施ノタメ埼玉、茨城、栃木三縣下ニ向ヒ一昨八日、有坂陸軍技術審査部長ハ重砲彈丸試驗ノタメ愛知縣伊良湖射場ニ向ヒ陸軍騎兵實施學校長秋山房次郎ハ特別大演習審判官トシテ岡山縣下ニ向ヒ昨九日孰モ出發●藤本步兵第三十二旅團長ハ步兵第三十七聯隊第四期檢閱ノタメ大阪府泉北郡信太山地方ニ向ヒ本月四日出發同五日歸著セリ

訴訟事件ニ付キ長野縣下ヘ實地臨檢ノタメ出張ヲ命セラレタル戶田行政裁判所評定官ハ昨九日出發セリ

曩ニ上京ノ青森縣事務官萩亮ハ昨九日出發歸任セリ

○官吏等卒去及死去　高千穗區裁判所判事從五位勳五等久保覺郞ハ去月三十日卒去シ神部署參務員正七位川浪眞世ハ同七日死去セリ

判決

○關稅訴願裁決　關稅賦課ノ訴願ニ對シ一昨八日大藏大臣ハ左ノ如ク裁決セリ

第四號

「オイル、フヰルター」ノ關稅賦課ニ關スル訴願裁決書

兵庫縣神戸市海岸通三丁目
三井物産會社代表者
訴願人　今角助治郞

訴願人陳述ノ要旨ハ

訴願人ハ明治四十三年七月十三日入港ノ英國汽船「カゼムベ」號ヲ以テ米國紐育ヨリ Oil filter 一箱ヲ輸入シ同年七月十四日輸入申告ヲ爲シタルニ神戸稅關ハ之ニ從價稅三割ヲ賦課セラレタリ訴願人カ其ノ課稅處分ニ對シ不服ノ理由ハ左ノ如シ

本品ノ構造及用途ハ別紙圖面ノ通鐵板、鐵管及眞鍮製品其ノ他數種ヲ以テ組立テ瓦斯機關ニ附屬シ瓦斯機關ノ運轉ニ使用シタル汚油ヲ清淨シ再ヒ使用スル目的ヲ以テ濾過スル爲ニ使用スルモノナリ

本品ノ運用ハ其ノ使用ノ準備トシテ瓦斯機關ノ氣筩ヲ冷却シタル爲ニ熱ヲ得タル溫水ヲ添附圖面D室ニ導ク爲ニ氣筩ノ水套ヨリD室ノ溫水取入口ニ鐵管ヲ取附ケ同時ニF室ノ點線ニ達スル迄淨水ヲ注入シGニ骨炭ヲ滿タス汚油ヲA室ニ注入スルトキハD室ノ溫水ハ之ヲ溫ムルカ故ニ汚油ハ其ノ流動性ヲ增シ容易ニ骨炭ヲ通過シ其ノ際汚油中ニ混入セル雜物ヲ濾過シ液面ノ高サノ差ニ依リB管ヲ降下シD″D′D等ノ小管ノ尖端ヨリ水中ニ撒出シ比重ノ差ニ依リ水面ニ浮ヒ上リ其ノ水中ヲ通過スル際ニ再ヒ油中ニ殘レル雜物ヲ水中ニ溶解又ハ沈澱セシメテ清淨ノ油ト爲リF室ノ上部ニ溜リタルモノヲI「コック」ヲ開キ排出シテ之ヲ使用スルナリ

本品カ機械ニ屬スヘキモノナルハ前記ノ用途ニ依リ瓦斯機關ノ氣筩冷却ニ用ヒタル水カ冷却ノトキニ得タル溫度ヲ以テD室ヲ溫メンカ爲鐵管ヲ以テ機關ニ連結シテ使用スル點ヨリ見レハ「オイル、セパレーター」カ蒸汽機關ノ附屬品ト看做サルヽカ如ク本品モ瓦斯機關ノ附屬品ト看做サルヘキモノナリ又本品ヲ「フヰード、ウォーター、ヒーター」ニ比スレハ其ノ機械的裝置ニ於テハ何等ノ差違ヲ認メス然ルニ後者ハ輸入稅表第四百五十六號ニ依リ機械トシテ課稅セラレ且明治四十一年六月「プレッシュアー、ウォーター、フヰルター」ヲ輸入セシ時同項目ヲ適用サレタリ之ヲ「オイル、フヰルター」ニ比スレハ用途ニ於テモ殆ント何等ノ差違ナシ此レニ由テ之ヲ觀レハ本品ハ機械ト看做サルヽヲ以テ至當ナリトス

右ノ理由ニ依リ本品ハ瓦斯機關ノ部分品トシテ輸入稅表第四百五十三號ヲ適用セラルヽカ或ハ雜種機械トシテ第四百五十六號ニ依リ從價一割五分ヲ賦課セラルヘキモノト信ス仍テ茲ニ訴願ヲ提起スト云フニ在リ

神戸稅關長辯明ノ要旨ハ

訴願人ハ本品ヲ以テ機械ト看做スヘキモノトシ輸入稅表第四百五十六號ヲ適用スルニ非レハ瓦斯機關ノ部分品トシテ同稅表第四百五十三號ヲ適用スヘキモノナリト主張スト雖本品ハ其ノ構造竝作用共ニ單純ニシテ鐵製圓筒ニ鐵管ヲ具ヘ之ニ眞鍮製「コック」竝「グラスゲージ」等ヲ取附ケ構成シ各種ノ機械ニ使用シタル汚油ヲ濾過スル器具ニシテ其ノ作用ハ普通ノ水濾器ニ酷似スルモ之ヲ以テ單獨ニ機械ト稱スヘキモノニアラサルヤ明カナリ又本品ヲ瓦斯機關ノ氣筩冷却ノ爲ニ生スル溫水排泄管ニ接續セシメ汚油ニ溫度ヲ與ヘ其ノ濾過ヲ容易ナラシムルハ排泄溫水ヲ利用シタルニ過キスシテ何等瓦斯機關ノ働作ヲ助ケ又ハ瓦斯機關ノ附屬品或ハ部分品トシテ働作スルモノニアラスシテ全ク別箇ノモノタリ之ニ反シ訴願人ノ引證スル「フヰード、ウォーター、ヒーター」ハ汽罐其ノ他ノ機械ト連繫シテ働作ヲ爲シ其ノ補助的裝置ヲ爲スヲ以テ機械ノ部分品ト看做スヲ得ヘク「プレッシュアー、ウォーター、フヰルター」及「オイル、セパレーター」ハ其ノ構造複雜ニシテ一種ノ機構ヲ有シ純然タル機械的裝置ヲ具備シタルヲ以テ機械ト認メタルニ外ナラス要スルニ本品ハ機械又ハ其ノ部分品ニ非ス一種ノ金屬製品ニ外ナラサルヲ以テ本官カ輸入稅表第四百六號ヲ適用シ從價三割ノ關稅ヲ賦課シタルハ至當ノ處分ナリト云フニ在リ

依テ本件ニ關スル一切ノ文書竝ニ關稅訴願審查委員會ノ審查報告ヲ查閱シ審理ヲ遂クル處訴願人ハ本訴願ニ係ル物品ハ瓦斯機關ノ運轉ニ使用シタル汚油ヲ濾過スルニ用フルモノニシテ瓦斯機關ノ氣筩冷却ニ用ヒタル水カ冷却ノトキニ得タル溫度ヲ以テ本機ヲ溫メンカ爲メ鐵管ニテ瓦斯機關ニ連結シテ使用スル點ヨリ見レハ「オイル、セパレーター」カ蒸汽機關ノ附屬品ト看做サルヽカ如ク本品モ瓦斯機關ノ附屬品ト看做サルヘキモノナリ又本品ハ現ニ機械ノ部ニ分類セラレアル「フヰード、ウォーター」「ヒーター」ト其ノ機械的裝置ニ於テ何等ノ差違ナキモノナルカ故ニ輸入稅表第四百五十三號若ハ第四百五十六號ヲ適用シ從價一割五分ノ關稅ヲ賦課セラルヘキモノナリト主張シ神戸稅關長ハ本品ハ其ノ構造竝作用共ニ單純ニシテ鐵製圓筒ニ鐵管ヲ具ヘ之ニ眞鍮製「コック」竝「グラスゲージ」等ヲ取リ附ケ構成シ各種ノ機械ニ使用シタル汚油ヲ濾過スル器具ニシテ其ノ作用ハ普通ノ水濾器ニ酷似スルモ之ヲ以テ單獨ニ機械ト稱スヘキモノニアラサルヤ明ナリ又本品ハ何等瓦斯機關ノ働作ヲ助ケ又ハ瓦斯機關ノ附屬品或ハ部分品トシテ働作スルモノニアラスシテ全ク別箇ノモノタリ故ニ一種ノ金屬製品ト認メ輸入稅表第四百六號ヲ適用シ從價三割ノ關稅ヲ賦課シタルハ至當ノ處分ナリト辯明スト雖本品ハ油ヲ濾過スルノ裝置ヲ有シ機械ト認ムヘキモノナルヲ以テ輸入稅表第四百五十六號ヲ適用シ從價一割五分ノ關稅ヲ賦課スヘキモノトス

仍テ裁決スルコト左ノ如シ

本訴願ニ係ル物品ニ對シテハ輸入稅表第四百五十六號ヲ適用シ從價一割五分ノ關稅ヲ賦課スヘキモノトス

明治四十三年十一月八日

大藏大臣　侯爵桂太郞

○特許局審決　野村外吉ヨリ播磨幸七ニ對スル第三五七七六號商標登錄無效審判請求事件ニ付キ本年五月十日ノ審決ニ對シ抗告ヲ爲シタルニ依リ去月十八日特許局ニ於テ左ノ如ク審決セリ

抗告審判番號第一一八號

審決書

大阪市東區南久寶寺町二丁目乙三十一番地
抗告審判請求人　野村外吉
右法定代理人　野村コマ
同市同區瓦町一丁目五番地
右代理人　特許辯理士　廣井代藏
神戸市東川崎町五丁目二十五番屋敷
抗告審判被請求人　播磨幸七

右當事者間ノ第三五七七六號商標登錄無效審判請求事件ニ付明治四十三年五月十日當局ニ於テ爲シタル審決ニ對シ抗告審判請求ヲ爲シタルニ依リ審決スルコト左ノ如シ

主文

原審決ヲ破毀ス

商標第三五七七六號登錄ヲ無效トス

審判費用及抗告審判費用ハ抗告審判被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領

抗告審判請求人ハ原審決ヲ破毀ス商標第三五七七六號登錄ヲ無效トス審判及抗告審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ請求人ノ第三二五八八號登錄商標ハ複線縱長方形ノ欄內中央ニ唐草狀ノ線二條宛ヲ連繫シテ縱長ノ輪廓ヲ設ケ其四邊中央ニ附飾ヲ施シ以テ特種ノ內欄ト爲シ內欄內ニ都の花石鹼及其他ノ文字ヲ記シ內欄ノ上下兩邊ニ蕾及葉ヲ附屬セル櫻花ヲ描キ其他內外兩欄ノ輪廓ノ間ハ花蕾及葉ヲ附屬セル菫ノ枝ヲ連繫シテ充塡シ以テ之ヲ構成シ石鹼ニ使用スル爲メ明治四十年八月二十六日出願シ其登錄ヲ受ケタルモノナリ次ニ被請求人ノ第三五七七六號登錄商標ハ複線縱長方形欄內中央ニ唐草狀ノ線二條宛ヲ連繫シテ縱長ノ輪廓ヲ設ケ其四邊ノ中央ニ附飾ヲ施シ以テ特種ノ內欄ト爲シ內欄內ニ牡丹の花石鹼ト記シ內欄ノ上下兩邊ニ葉ノ附屬セル牡丹花ヲ描キ其他內外兩欄ノ輪廓ノ間ハ花蕾及葉ヲ有スル牡丹ノ枝ヲ連繫シテ充塡シ以テ之ヲ構成シ石鹼ニ使用スル爲メ明治四十一年十二月三十一日出願シ其登錄ヲ受ケタルモノナリ而シテ兩商標ハ等シク複線縱長方形欄內ニ殆ト同一ナル特殊ノ內欄ヲ設ケ內欄內ニ都の花石鹼又ハ牡丹の花石鹼ト記シ內欄ノ上下ニ花卉ヲ描キ內外兩欄輪廓ノ間ニ花卉ヲ連繫シタル等全體ノ意匠同一ニシテ商標ノ概觀酷似シ特ニ離隔觀察ニ於テ彼此混同誤認セラルヽノ虞アリ從テ兩商標ハ相類似スルモノトス加之被請求人ノ商標登錄出願前ニ請求人ノ登錄商標ハ既ニ世人ニ周知セラレタリ故ニ被請求人ノ商標第三五七七六號ノ登錄ハ商標法第三條第一項第二條第五號及第十一條ニ依リ之ヲ無效トスヘキモノナリト陳述シ甲第一、二號證ヲ提出シ商標原簿ヲ援用セリ抗告審判被請求人ハ請求人ノ申立相立タス審判及抗告審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ請求人ノ第三二五八八號登錄商標ハ縱長方形ノ特殊欄ヲ描キ欄ノ周圍ニ櫻花及菫花ヲ描キ欄內ニ都の花石鹼ト記セリ被請求人ノ第三五七七六號登錄商標ハ縱長方形ノ特殊欄ヲ描キ欄ノ周圍ニ櫻花及菫花トハ絕對ニ相違セル牡丹花ノミヲ描キ欄內ニ牡丹の花石鹼ト明記セリ故ニ兩商標ハ意匠模樣ヲ異ニシ標識部分タル圖形ヲ異ニシ殊ニ主要部分タル牡丹の花石鹼ト都の花石鹼トハ文字及名稱ヲ異ニセリ從テ概觀上及稱呼上混同誤認セラルヽノ虞ナシ又被請求人ノ第三五七七六號登錄商標ハ被請求人ノ第三三八三四號及第三五七七五號登錄商標ノ聯合商標ニシテ第三三八三四號ハ被請求人カ明治二十七年三月二十七日以來石鹼ニ關シテ專用權ヲ有スル第五五一〇號登錄商標ノ聯合商標トシテ登錄セラレタルモノナリト陳述シ乙第一號證ヲ提出シ商標原簿ヲ援用セリ

審決ノ理由

請求人ノ第三二五八八號登錄商標ト被請求人ノ第三五七七六號登錄商標トハ甲第一號證ト乙第一號證トニ依リ之ヲ對照スルニ共ニ子母線輪廓ノ縱長方形欄ノ中央ニ唐草狀ノ線二條宛ヲ連繫セル輪廓ノ內欄ヲ設ケ而シテ請求人ノ商標カ內輪廓ノ上下兩邊中央外部ニ櫻花ヲ描キ內外輪廓間ニ菫花ヲ充塡セルニ對シ被請求人ノ商標ハ內輪廓上下兩邊中央外部ニ牡丹花ヲ描キ內外輪廓間モ亦牡丹花ヲ以テ充塡シ請求人ノ商標カ內欄ニ都の花石鹼ト書下セルニ對シ被請求人ノ商標ハ內欄ニ牡丹の花石鹼ト書下セリ故ニ兩商標ハ之ヲ構成スル資料ニ於テ差異アルコト被請求人所論ノ如シト雖モ其資料排列上ノ意匠相等シク商標ノ概觀相類似ス被請求人ハ兩商標ノ標識部分タル圖形相異リ殊ニ都の花石鹼ト牡丹の花石鹼トハ文字ヲ異ニスルカ故ニ兩商標ハ相類似セスト主張セリト雖モ兩商標ノ標識ハ其構成資料タル圖形ノ一部若ハ文字ニ在ルニアラスシテ其全形ニ在リ而シテ其全形ノ概觀相類似セルカ故ニ兩商標ハ相類似セルモノトス被請求人ハ又都の花石鹼ト牡丹の花石鹼トハ名稱ヲ異ニスルカ故ニ兩商標ハ稱呼ヲ異ニシ從テ混同誤認セラルヽノ虞ナシト主張スルモノヽ如シ然レトモ商標ノ稱呼ハ概觀上相類似セサル商標ヲシテ相紛ラハシキ稱呼ニ因リ相類似スル商標タラシムルコトアリト雖トモ既ニ概觀上相類似スル商標ヲシテ稱呼ノ差異ニ因リ其類似ヲ免レシムルコトヲ得ヘキモノニアラス又乙第一號證ハ以テ被請求人ノ主張ヲ證スルニ足ラス而シテ被請求人ノ商標ハ請求人ノ商標登錄ノ後同一商品ニ使用スル爲メ登錄ヲ出願シ現行商標法施行前ニ登錄セラレタルモノナルヲ以テ商標法附則第二項第三項特許法第九十九條商標法第三條第一項及第十一條ニ依リ其登錄ヲ無效トスヘキモノトス請求人ノ登錄商標ノ出願前ニ登錄セラレタル被請求人ノ商標ニ被請求人ノ第三五七七六號登錄商標カ類似シ且同一商品ニ使用スルモノニシテ聯合商標トシテ登錄セラレタル事實ハ以テ第三五七七六號登錄商標ノ登錄ヲ維持スルノ理由ト爲スコトヲ得ス何トナレハ同一ノ商品ニ使

第8217号 本文

用スル他人ノ先願商標ニ類似セルヤ否ヤハ商標ノ登録ヲ受クルコトヲ得ルヤ否ヤニ關スル先決問題ニシテ自已ノ商標ノ聯合ト爲スコトヲ得ルヤ否ヤハ登録ヲ受クルコトヲ得ル場合ニ於テ次テ起ル問題ナルヲ以テナリ以上ノ理由ニ基キ請求人ノ主張ヲ正當トシ主文ノ如ク審決ス

明治四十三年十月十八日於特許局

審判長　特許局長　中松盛雄
特許局事務官　田中鐵二郎
特許局事務官　三浦惠一

司法

○辯護士名簿登録取消　東京地方裁判所所屬辯護士淺見芳太郎ハ死去ニ因リ本月四日所屬裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ノ登録ヲ取消セリ

○破産管財人任命　愛媛縣平民長妻篤日子ハ本月八日松山地方裁判所管内破産管財人ヲ、同縣平民門田發治、茨城縣平民佐藤五三郎ハ同日樺太地方裁判所管内破産管財人ヲ孰モ命セラレタリ

褒賞

○藍綬褒章下賜　公衆ノ利益ヲ興セシ廉ヲ以テ賞勳局ニ於テ去月三日藍綬褒章ヲ下賜シタル者左ノ如シ

北海道沙流郡門別村　飯田信三

資性剛毅明治五年居村ニ移住シ常ニ心ヲ地方ノ發達ニ注キ其氣候風土ノ産馬ニ適スルヲ知ルヤ專ラ力ヲ産馬ノ改良蕃殖牧場ノ整理ニ致シ殊ニ率先シテ洋種馬匹ノ蕃殖ヲ圖リ以テ模範ヲ示シ又日高牧畜合資會社ヲ興シ沙流郡産牛馬組合ヲ結ヒ以テ馬牛ノ改良販路ノ擴張ヲ計リ拮据經營私財ヲ投シテ斯業ヲ奬勵シ日高馬匹ノ聲價ヲ揚クルニ至ラシメ其他汽船ヲ購入シテ航路ヲ開キ以テ運輸交通ニ便スル等洵ニ公衆ノ利益ヲ興シ成績著明ナリトス依テ明治十四年十二月七日勅定ノ藍綬褒章ヲ賜ヒ其善行ヲ表彰セラル

○特例賞杯下賜　實業ニ精勵セシ廉ヲ以テ賞勳局ニ於テ去月六日特例銀杯ヲ下賜シタル者左ノ如シ

千葉縣千葉郡千葉町　花澤紋之助

亡祖父花澤紋十資性謹直夙ニ志ヲ殖産興業ニ勵シ甘藷ヲ以テ澱粉ヲ製造スルノ法ヲ傳習シ其利アルヲ知ルヤ之ヲ衆ニ示シテ其製造ヲ勸誘シ衆皆鋭意斯業ニ從事シ今ヤ郡内ノ産額五十二萬九千餘貫價格拾八萬餘圓ニ上リ縣下ノ重要物産タルニ至ラシムル所以ノモノ其指導誘掖ノ效ニ由ラスンハアラス洵ニ奇特トス依テ爲其賞銀杯一箇下賜候事

○陸海軍

○不要徴兵終決處分者　長崎縣ニ於ケル所在不明ノ徴兵終決處分未濟者中滿四十歳超過、死亡等ノタメ爾後調査ヲ要セサル者左ノ如シ(長崎縣)

本籍	氏名	生年月日
長崎市大浦郷五〇三	渡邊壽太郎	明治一六、一二、一五
同大浦郷	有田卯助	三、三、一一
同	田島伊左五郎	三、七、八
同銅座町	浦田安太郎	二、一〇、一九
同	一ノ瀬貞吉	三、六、三
同桃島町四一	今崎福太郎	二、一一、一〇
同伊良林一六	大橋米吉	二、一一、一一
同飽ノ浦郷七三九	福田卯八	三、一、一八
同東中町	松尾仲太郎	三、一、二〇
同西山	北村松三	三、二、一
同今籠町	田口梅太郎	三、二、七
同中川郷二四一	太内田湊吉	三、二、一五
同船津町	藤田吉太郎	三、三、二一
同四六	久保田粂藏	一九、一、一五
同小島郷	森川吉次郎	三、二、二九
同三三〇	木村爲一郎	二、二、二〇
同櫻町一八	廣渡眞太郎	三、三、一
同古町	渡瀨輝太郎	三、三、三
同高野平郷五六	橋本林三郎	三、三、一三
同二三一	野村貞重	三、三、二〇
同外浦町三八	曾根二三郎	三、三、二一
同竹久保郷四三二	松井才吉	三、四、二九
同本五島町四二	永田常三	三、五、一
同十善寺郷	松本竹次郎	三、五、一三
同	飯田伊三太	三、七、二四
同八百屋町一九	森崎平次	三、七、七
同出來大工町七七	島田元太郎	三、八、五
同本古川町	石津菊太郎	三、八、一〇
同内中町	小山淸十郎	一〇、八、八
同南山手郷二六	本間政吉	九、一〇、一九
同大字浦上淵船津郷九 九	緒方新五郎	三、八、一
佐世保市六八九	山崎千吉	三、二、一九
同赤崎免一三五四	新谷寅藏	三、三、一
西彼杵郡伊王島村大字伊王島三二五	川原文十	一九、三、五
同大字沖島四〇	並崎喜一	三、三、二〇
南松浦郡奈留島村四二	夏井夏市	三、六、一
同岐宿村一二三	大町權次郎	三、三、八
同大濱村小泊郷二六二	原田六三郎	二、八、一〇
同富江村四六二	本川万藏	三、五、一八
同五七	増田嘉四郎	三、一〇、八
同一一九五	山本万藏	一八、三、五
同二六五ノ一	松本豐實	三、五、八
同久賀島村三三一	山口藤次	三、七、一三
同三井樂村四〇一	竹中助藏	二〇、二、六
同濱ノ浦村六九	中村彌三郎	一九、一、一八
下縣郡嚴原町大字國分一四三同居	木谷吉之助	二、四、六
同一四二〇	有田爲吉	二、二、一
同船越村大字犬吠一五三	小島文吉	二、二、二七
同仁位村大字鑓川三	山内喜右衞門	三、六、三
同峯村大字志多賀六〇	山下眞助	三、二、二六

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ(海軍省)

艦名	月日	著	艦名	月日	著
宇治	一一、八	上海	出雲	一一、八	佐世保
滿州	同	横須賀			

○財政

○國債登録額　去月中甲種登録國債額ノ異動左ノ如シ(大藏省)

種別	前月ヨリ越高 圓	登録高 圓	削除高 圓	月末現在高 圓
舊公債	六、三八八、三二五	―	―	六、三八八、三二五
整理公債	八、二〇〇	―	四〇〇	七、八〇〇
軍事公債	一〇、一五〇	―	六〇〇	九、五五〇
五分利公債	一三三、五八七、二五〇	三、七二六、八五〇	八〇五、三五〇	一三六、五〇八、七五〇
臨時事件公債	六八、七二〇、六五〇	二、三五〇	一、二〇〇	六八、七二一、八〇〇
第二回發行國庫債券	三六七、八七五	―	七三、九〇〇	二九三、九七五
第三回發行國庫債券	一、一七八、八二五	一六、九〇〇	一五〇	一、一九五、五七五
煙草專賣法國庫債券	一〇、五〇〇	―	一〇〇	一〇、四〇〇
第一回四分利公債	五四、二二五、四五〇	一五〇、〇〇〇	―	五四、三七五、四五〇
第二回四分利公債	五八、九四〇、〇五〇	四六六、五五〇	一五、〇五〇	五九、三九一、五五〇
合計	三二三、四三七、二七五	四、三六二、六五〇	八九六、七五〇	三二六、九〇三、一七五

○産業

○蜜柑輸出荷造試驗成績　和歌山縣ニ於ケル昨四十二年十一、十二兩月第二、第三回ノ蜜柑輸出荷造試驗成績同縣ヨリ左ノ如ク報告アリ(農商務省)

(一六)

蜜柑輸出荷造試驗

目的　本試驗ハ適當ト考フル數種ノ荷造法ニ依リ蜜柑ヲ輸出シ其等荷造法ノ中孰カ最モ適スルヤヲ檢セントスルニ在リ

輸出先　北米合衆國桑港、北米加拿陀バンクーバー

荷造地　和歌山縣有田郡箕島町大字北濱

荷造期

第二回試驗　桑港宛十月三十一日ヨリ三日間、バンクーバー宛十一月五日ヨリ三日間

第三回試驗　桑港宛、バンクーバー宛各十一月十八日ヨリ八日間

輸出順路　荷造地ヨリ汽船ニテ神戸ヘ運送シ神戸ニ於テ米國行ノ汽船ニ積込ミ其ヨリ横濱ヲ經テ一ハ布哇ヨリ桑港ニ至リ一ハ直接バンクーバーニ至ル

汽船

第二回試驗　桑港行「アジア」號　バンクーバー行「エムプレス、オブ、チャイナ」號

第三回試驗　桑港行「コレア」號　バンクーバー行「モンテーグル」號

汽船内積込場所　各汽船共最上層ノ船倉内

供試蜜柑　蜜柑ハ有田郡星尾、下中島、山田原及海草郡椒村産ノモノヲ使用セリ

選果ノ標準

(一)瘡痂病ニ罹ラサルモノ、(二)煤病菌ノ附著セサルモノ、(三)害蟲ノ存在セサルモノ、(四)果皮ノ損傷セサルモノ、(五)色澤ノ良好ナルモノ、(六)成ルヘク大サノ一定セサルモノ

調査　輸出先ニ於ケル調査法左ノ如シ

第一回調査　蜜柑ノ到著後直ニ行フ

第二回調査　第一回調査ノ際各括(一括ハ四箱ヲ集メテ繩ニテ結ヒタルモノ)ヨリ中等ナル一箱ヲ選出シ之ヲ貯藏シ置キ更ニ一箇月ヲ經テ其等ノ腐敗數ヲ調査ス

荷造ヨリ輸出先ニ於ケル第二回調査ニ至ル間ノ日數ヲ詳記スレハ左ノ如シ

	第二回試驗 桑港	第二回試驗 バンクーバー	第三回試驗 桑港	第三回試驗 バンクーバー
荷造地ヨリ神戸發マテ	四日	五日	一三日	三日
神戸發ヨリ輸出先ニ到達マテ	二二	一四	一九	一七
輸出先到達ヨリ第一回調査マテ	七	八	九	一三
第一回調査ヨリ第二回調査マテ	三一	三一	三一	三一
計	六三	五八	七二	六四

試驗ノ種類　荷造ニ關シ本試驗ヲ左ノ五種トス

第一　紙包試驗
第二　隙箱使用試驗
第三　蓆包得失試驗
第四　箱ノ大サニ關スル試驗
第五　蜜柑取扱ノ輸送上ニ及ホス影響試驗

試驗ノ成績　前記各試驗ノ設計ト成績トヲ併セテ順次左ニ記載セントス

第一　紙包試驗

目的　本試驗ハ蜜柑ノ荷造ニ際シ一々紙ヲ以テ包ミ而シテ輸送中包紙ノ蜜柑ニ對スル保護ノ效果ヲ檢セントスルニ在リ

包紙ノ種類　「パラフィン」紙、鉛紙

包紙ノ價格　「パラフィン」紙一連一圓九十錢、鉛紙同一圓二十錢

共ニ長サ二尺五寸二分、幅一尺六寸八分ノモノ五百枚ヲ以テ一連トス

包紙ノ大サ　「パラフィン」紙及鉛紙共ニ一枚六ツ切トシテ使用ス卽チ六ツ切一枚ノ大サ八寸四分四方ナリ

箱ノ種類　普通箱及隙箱

普通箱　普通箱ハ本縣ニ於テ從來米國輸出ニ使用シタル箱ニシテ其大サ内法長サ九寸三分、幅七寸、深サ四寸七分トス

隙箱　本箱ハ普通箱ト同大ニシテ長側壁ニ沿ヒ相對セル隅ニ於テ幅五分ノ間隙一對ヲ作リタルモノ

箱數　二同宛二箇所ニ輸出シタル箱數左ノ如シ

紙ニテ蜜柑ヲ包マサルモノ四十八箱(内普通箱、隙箱、隙箱蓆包各十六箱)、「パラフィン」紙ニテ蜜柑ヲ包ミタルモノ四十八箱(同上)、鉛紙ニテ蜜柑ヲ包ミタルモノ四十八箱(同上)

荷造　蜜柑ヲ一々紙ニテ包ミ箱内ニテ動搖セサル樣程能ク一定ノ數量ヲ詰メ蓋ヲ打チ貼紙ヲ貼リ記號ヲ付シ同樣ノ紙ニテ包ミタルモノ四箱ヲ集メテ一括トシ其上ヲ繩ニテ結ヘリ又蓆包トスルモノニ在リテハ箱四ツヲ蓆ニテ包ミ其上ヲ繩ニテ結ヘリ

成績　明治四十二年度桑港宛二回輸出ノ結果左ノ如シ(第一表)

	第一回調査 蜜柑總數	第一回調査 腐敗數	第一回調査 百分率	第二回調査 蜜柑總數	第二回調査 腐敗數	第二回調査 百分率
紙ニテ蜜柑ヲ包マサルモノ	一三六〇	九五	七・〇	一一〇	三〇	二七・三
「パラフィン」紙ニテ包ミタルモノ	一四二七	六五	四・六	一二三	一二	九・七
鉛紙ニテ包ミタルモノ	一五四二	九四	六・一	一二三	一六	一三・〇

(備考)　紙ニテ包マサルモノ、蜜柑總數ノ少キハ幾分大果ナリシニ因ル又「パラフィン」紙ニテ包ミタルモノ、蜜柑總數ノ少キハ輸送中箱ノ破損ノタメ一箱ノ蜜柑紛失セシニ因ル

次ニ同年度バンクーバー宛二回輸出ノ結果左ノ如シ(第二表)

	第一回調査 蜜柑總數	第一回調査 腐敗數	第一回調査 百分率	第二回調査 蜜柑總數	第二回調査 腐敗數	第二回調査 百分率
紙ニシ蜜柑ヲ包マサルモノ	九六八	一〇八	一一・二	二五七	九六	三七・四
「パラフィン」紙ニテ包ミタルモノ	九六四	二〇	二・一	三七三	一七	四・六
鉛紙ニテ包ミタルモノ	九七五	三〇	三・一	二九二	一七	五・八

(備考)　前表ニ於テ蜜柑總數ノ著シク少キハ紙ニテ包マサルモノ九箱、「パラフィン」紙ニテ包ミタルモノ三箱及鉛紙ニテ包ミタルモノ六箱ハ孰モ輸送中蜜柑ノ紛失セシニ因リ成績ノ正確ヲ期センカタメ更ニ「パラフィン」紙ニテ包ミタルモノ六箱及鉛紙ニテ包ミタルモノ三箱ヲ除キ調査シタルニ因ル

今前第一表及第二表ヲ合算スレハ左ノ如シ(第三表)

	第一回調査 蜜柑總數	第一回調査 腐敗數	第一回調査 百分率	第二回調査 蜜柑總數	第二回調査 腐敗數	第二回調査 百分率
紙ニテ蜜柑ヲ包マサルモノ	二三二八	二〇三	八・七	三六七	一二六	三五・四
「パラフィン」紙ニテ包ミタルモノ	二三九一	八五	三・六	四九六	二九	五・八
鉛紙ニテ包ミタルモノ	二五一七	一二四	四・九	四一五	三三	八・〇

更ニ二箇年間ニ於ケル輸出試驗ノ成績ヲ擧クレハ左ノ如シ(第四表)

	第一回調査 蜜柑總數	第一回調査 腐敗數	第一回調査 百分率	第二回調査 蜜柑總數	第二回調査 腐敗數	第二回調査 百分率
紙ニテ蜜柑ヲ包マサルモノ	三二五七	二二六	六・八	九二一	二五八	二八・〇
「パラフィン」紙ニテ包ミタルモノ	三三八二	九三	二・七	一〇九六	五六	五・一
鉛紙ニテ包ミタルモノ	三四七五	一四〇	四・〇	九八二	六〇	六・一

成績ノ概要　蜜柑ノ荷造ニ際シ紙ヲ以テ果ヲ包ミタルモノハ包マサルモノニ比シ腐敗數少キハ毎回ノ試驗皆其成績ヲ一ニシ極テ明瞭ナリ又包紙ノ種類ニ關シテモ「パラフィン」紙ヲ以テ包ミタルモノハ鉛紙ヲ以テ包ミタルモノニ比シ概シテ一分乃至二分方腐敗率少キハ又殆ト相一致セルヲ見ル次ニ腐敗蔓延ノ程度ト包紙ノ效果トニ關シテハ腐敗ノ蔓延大ナルニ從ヒ包紙ノ效顯著大ナリ今前諸表ヲ通覽スルニ孰ニ於テモ第二回調査ニ於ケル腐敗率ハ第一回調査ノ其ニ比シ著シク高キヲ見ル是レ時日ヲ經タルタメ腐敗スルモノ次第ニ増加シタルニ因ル而シテ此二回ノ調査ニ於ケル包紙ノ效果ヲ比較スルニ第二回ノ調査ニ方リテハ第一回調査ニ於ケルヨリモ其效果著シク大ナリ卽チ二箇年間ノ成績第四表ニ就キテ見ルニ第一回調査ニ於テハ紙ニテ包マサルモノハ「パラフィン」紙ニテ包ミタルモノニ比シ約二倍半、鉛紙ニテ包ミタルモノニ比シ約一倍半ノ腐敗率ヲ示セリ然ルニ第二回調査ニ於テ紙ニテ包マサルモノハ「パラフィン」紙ニテ包ミタルモノニ比シ約五倍半、鉛紙ニテ包ミタルモノニ比シ約四倍半ノ腐敗率ヲ示シ包紙ノ腐敗蔓延豫防上著シキ效果アルコトヲ示セリ

(一七)

第8217号 本文

第8217号　本文

第8217号　本文

鰮魚鑵詰ニ付キテハ從來聞ク所ニ依レハ「オレーフ」油並ニ鑵材料カ內地ニ於テ製造セラレスシテ悉ク輸入ヲ仰クヲ以テ日本製ノモノハ高價ニシテ他國產ニ比シテ實行惡シト云ヘリ然レトモ諾威等ニ於テモ「オレーフ」油ハ製造セラレス鑵材料モ亦他國ヨリ輸入セラルヽモノナルニ拘ハラス同國ニ於テハ一ノ國產トシテ同國輸出貿易主要品ノ一タルヲ得ルコトヲ考フレハ此間何等カ他ニ我國鰮鑵詰事業ノ發展セサル理由アルヘシト考ヘ之ヲ當業者ニ問ヒテ稍々其疑ヲ解クヲ得タリ

從來日本鑵詰會社（愛知縣下所在ノ會社ニシテ同營業者中屈指ノモノナレハ以下專ラ同社製品ニ就キテ述フ）カ嘗テ英國ニ試賣シタルモノハ其製法頗ル不良ニシテ殆ト市場ニ顧ミラレサリシモ近來製造スル「スタデリナ」"Stadelina"ナル商標ヲ有スル品ハ可ナリノ品物ナレトモ尚ホ時トシテ魚カ餘リ小ナルモノアリ餘リ大ナルモノアリ成ルヘク之ヲ同樣ノ大サヲ要スルト同時ニ鱗ノ充分ニ取去ラレサルモノ又ハ腸ノ附著シ居ルモノ等アリ是等ハ皆注意シテ除去セラレサルヘカラス魚ノ大サハ一鑵ニ十匹ヨリ十四匹位ヲ可トス鑵ノ大サハ日本鑵詰會社ニ於テハ所謂 Dingley quarter ナルモノヲ用フレトモ此ハ米國向トシテ適當ナルヤモ知レサレトモ英國向トシテハ Full quarter ノ大サヲ用フルヲ要ス（Full quarter size ニテハ二十二「ミリメートル」ノ厚サナリ Dingley quarter ハ之ヨリ稍々薄シ）以上ノ注意ニシテ充分實行セラルレハ前記 "Stadelina" 商標品ハ現在日本鑵詰會社カ倫敦ニ於テ賣出シ居ル價格ニテ其販路ヲ擴クルヲ得ヘシト云ヘリ其用油ニシテ若シ純粹ノ「オレーフ」油ノミヲ使用セスシテ綿實油等ヲ混用スレハ一見直ニ分別セラレ得ヘキカ故ニ此ノ如キ手段ヲ用フルハ自滅ノ道ナルコトヲ知ラサルヘカラス

佛國製品ハ最モ上等ノモノトシテ市場ニ知ラレ居レトモ近年追々產額ノ減少ト共ニ價格高騰シテ他國製品ノ需要ヲ增スノ傾向アリ葡萄牙產ハ價格廉ナリト雖モ鰮魚概シテ大ニシテ上等需要者ノ嗜好ニ適セス諾威ヨリハ普通ノ油漬ヨリモ一旦燻製シテ之ヲ油漬トシタルモノヽ方多キカ如シ今各國ヨリ英國ヘ輸入鰮鑵詰ノ數量價格ヲ取調フルニ左ノ如シ

國名	輸入數量 一九〇九年	一九〇八年	一九〇七年	輸入價格 一九〇九年	一九〇八年	一九〇七年
	百「ウェート」	百「ウェート」	百「ウェート」	磅	磅	磅
諾威	七九、四三九	七二、四〇四	五六、四八七	一九四、九三一	一八二、六二二	一四四、五八四
佛蘭西	二九、九八三	二三、三〇四	一七、七三一	一二〇、三八五	九八、八九一	六七、九六七
葡萄牙	一三八、七九〇	一三七、〇三三	一三一、七三一	三一七、七三〇	三一六、三三一	二七八、二九九
其他	九、二〇七	一九、六六五	一九、二七一	二三、九〇三	五六、〇四七	四九、八五四
合計	二四七、四一九	二五二、四〇六	二二五、二三〇	六六六、九四九	六五三、八九一	五四〇、七〇四

本年九月末日マテノ輸入合計數量約二十一万八千二百二十四箱ナリト云フ當地卸賣及小賣價格左ノ如シ

佛蘭西產	鑵ノ大サ quarter 百箇	十九志―二十五志
諾威產	同	十六志―二十志
葡萄牙產	同	十四志―十八志

小賣値段ハ各店素ヨリ軌ヲ一ニセス大低此卸賣値段ニ一割乃至二割ヲ加フ鰮油漬鑵詰販賣ノ方法トシテ別ニ新規ナル良法ヲ見出サス諾威、佛蘭西、葡萄牙等ノ商品トテモ別段廣告方法ヲ用ヒスシテ皆相應ニ賣行ケトモ日本鰮ハ市場ニ知ラレ居ラサルヲ以テ Grocer's Gazette 等ノ時報ニ廣告スルハ販路擴張ノ上ニ於テ有效ナルヘキヲ疑ハス

蝦（Lobster）鑵詰ハ從來重ニ加拿陀ヨリ供給セラレ居リタレトモ先年四十八封二十五志位（一鑵一封入四打入一箱ノ値段）ナリシモノカ漸次騰貴シ今日ニテハ七十八志ヲ價スルニ至リシカハ其代用品トシテ南阿非利加ヨリ Crayfish ヲ鑵詰トシテ用フルニ至レリ該品ノ肉ハ蝦ト殆ト同等ナレトモ只手ノ「ハサミ」ナキ點缺點ナリ然レトモ價格二十七八志位ナル故廣ク用ヒラルヽニ至レリ日本ノ蝦鑵詰ニシテ四十八封三十志位ニテ倫敦ニ持チ來スヲ得ハ販賣ノ途アルヘシト云フ Shrimp, Prown 等ノ鑵詰ハ販路困難ナリ右ハ新鮮ノモノ多キノミナラス需要モ亦 Lobster ニ比シテ少ケレハナリ

其他寒天、鮑貝等ノ如キ既ニ輸出セラレ居ルモノヲ除キ今回日英博覽會ニ陳列セラレ居ルモノニシテ鯨骨ノ薄片ヲ以テ製シタル小道具類（煙草入等ノ如キ）ハ稍々人ノ注意ヲ惹キタルカ如シ然ルニ其箇々ノ製作品ノ代價ヲ知ルヲ得ルモ其原料タル鯨骨薄片カ一片幾何ノ値段ナルヤ不明ナリシハ甚タ遺憾トスル所ニシテ價格若シ廉ナレハ該品ハ婦人用手提鞄其他ノ英國向小道具用原料トシテ需要アルヘキヲ疑ハス鉄海苔モ試用シタキ希望者ヲ生シタルヲ以テ當地ノ府澤商店ニ依頼シ日本ヨリ取寄セ糊付用トシテ試ミシムル考ナリ

蟹鑵詰ノ需要如何ヲ問合セタルニ對シ左記商店ヨリノ回報ニ依レハ當方ヨリ送付セル蟹ノ鑵詰見本ヲ檢スルニ至極滿足ノモノト認ムルモ同見本ト同形ノ「ザリガニ」（Crayfish）ノ鑵詰四十八箇一箱モノ當倫敦波止場渡（Ex London Wharf）二十五志乃至二十七志ニテ求メラル[illegible]テハ取引困難ト思ハルヽモ日本品ニシテ右品ニ對[illegible]テ値段カ日英博覽會事務局ノ言フ所ニ依レハ四十八鑵（一鑵一封入）積渡三十三志四片ナリト云フニ依レハ一見價格ノ點ニテ商談困難ナルカ如シト雖モ若シ之ヲ倫敦二十志位ニテ賣ルコトヲ得ハ販路ヲ開クヲ得ルヤ疑ナシ

Schmoele, Rhodes & Co.
131, Wool Exchange,
Coleman Street,
London, E. C.

○觀象

○全國氣象

十月三十一日

區	測候所	氣壓	溫度	最高	最低	風向	風力	雨量	天氣
一	恆春	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	臺東	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	臺南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	澎湖島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	臺中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	臺北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	石垣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	那覇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	名瀬	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	佐多岬	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	都井岬	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	鹿兒島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	宮崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	熊本	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	足摺	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	高知	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	德島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	和歌山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	日御碕	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	潮岬	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	大分	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	松山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	多度津	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	廣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	呉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	岡山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	神戸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	京都	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	八木	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	長崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	佐世保	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	佐賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	福岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	厳原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	下關	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	濱田	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	境	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	經ケ岬	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	舞鶴	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

測候所	觀測値	天氣
十勝	[illegible]	曇
宗谷	[illegible]	晴
網走	[illegible]	雨
釧路	[illegible]	快晴
根室	[illegible]	曇
札幌	[illegible]	[illegible]
大泊	[illegible]	快晴
[illegible]	[illegible]	快晴
[illegible]	[illegible]	快晴
釜山	[illegible]	快晴
木浦	[illegible]	快晴
仁川	[illegible]	快晴
平壌	[illegible]	快晴
元山	[illegible]	曇
城津	[illegible]	曇
[illegible]	[illegible]	晴
大連	[illegible]	快晴
旅順	[illegible]	晴
營口	[illegible]	晴
奉天	[illegible]	曇
長春	[illegible]	曇
天津	[illegible]	晴
芝罘	[illegible]	快晴
青島	[illegible]	晴
上海	[illegible]	―
廈門	[illegible]	快晴
杭州	[illegible]	晴
南京	[illegible]	晴
漢口	[illegible]	晴
沙市	[illegible]	晴

○天氣概況　氣壓千島方面ニ上昇シ滿洲北淸ニ急降セリ昨日フィリピン群島ノ南東海上ニ顯レシ颱風ハ徐々北西ニ進行シ來リ臺灣南部ニ接近セントスル模樣アリ臺灣ヨリ東北地方マテハ概ネ快晴ニシテ殊ニ瀨戶內ニテハ天空ニ一點ノ雲影ヲ見ス然レトモ北海道及滿洲ニテハ北東ノ風吹キ概シテ曇天ナリ樺太南部ニテハ又稀ナル好晴ニシテ朝鮮ニモ快晴ノ處多シ

○全國天氣豫報

九日發

自十一月九日午後六時
至十一月十日午後六時　二十四時間ノ天氣豫報

第一區　北東ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ
第二區　北ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ
第三區　第二區ニ同シ
第四區　第二區ニ同シ
第五區　第二區ニ同シ
第六區　第二區ニ同シ
第七區　北西ノ風、概ネ曇
第八區　北ノ風、概ネ晴ナレトモ雨模樣ノ處アリ
第九區　第七區ニ同シ
第十區　北ノ風、概ネ晴

○東京地方天氣豫報

北ノ風、曇ナレトモ雨模樣アリ

○東京氣象

十一月八日

氣壓（海面ノ度）	平均	七六八・三粍
氣溫	平均	一〇・四度（平年ヨリ一・二度低シ）
	最高	一八・〇度
	最低	四・二度
濕度	平均	七七・五%
水蒸氣張力	平均	七・二粍
雲量	平均	二・六
日照時間		九・三時
風	平均速度	二・九米
	最大速度	五・四米
	最多方向	北西
降水	總量	―粍
	一時間最大量	―粍
蒸發	量	二・一粍
記事		朝夜露アリ、夜南方ニ電光アリ

○地震

十一月九日マテニ達シタル地震報告左ノ如シ

地名	日	時刻	震度・性質
秋田	十月十三日	午後十一時五十八分三十秒	微　性質緩
青森	同	午後十一時五十八分二十七秒	微（感覺ナシ）
秋田	同十五日	午後八時二分三十一秒	微（感覺ナシ）
青森	同十八日	午前零時二十八分十九秒	微　性質緩
父島	同	午後十一時四十六分五十六秒	微　地鳴アリ
秋田	同十九日	午前二時三十五分零秒	微（感覺ナシ）
秋田	同	午前七時五十二分四十秒	微（感覺ナシ）
筑波	同二十日	午後五時四十五分二十五秒	微（感覺ナシ）
父島	同	午後五時五十一分四十四秒	微（感覺ナシ）
筑波	同	午後六時三十二分零秒	微（感覺ナシ）
筑波	同二十一日	午前十時十三分四十秒	微（感覺ナシ）
父島	同	午後一時二分五十一秒	微（感覺ナシ）
筑波	同二十三日	午前六時七分二十秒	微（感覺ナシ）
筑波	同	午後六時二十一分二十秒	微（感覺ナシ）
筑波	同二十四日	午前十一時五十二分二十秒	微　性質急、地鳴アリ
秋田	同	午前十一時五十五分一秒	微（感覺ナシ）
飯田	同二十五日	午前三時二十二分五十五秒	微　性質緩
秋田	同	午前三時二十二分五十五秒	微（感覺ナシ）
筑波	同	午前三時四十一分二十五秒	微　性質急、地鳴アリ
秋田	同	午後三時四十七分二十四秒	微（感覺ナシ）
筑波	同	午後四時五十七分五十五秒	微　性質急、地鳴アリ
筑波	同	午後七時八分十五秒	微　性質急、地鳴アリ
筑波	同二十六日	午前十時十四分二十秒	微　性質急、地鳴アリ
恒春	同	午後四時四十四分十四秒	微（感覺ナシ）
筑波	同	午後六時二十二分四十五秒	微（感覺ナシ）
父島	同二十七日	午前八時六分十二秒	微
秋田	同	午後十一時四十七分四十七秒	微（感覺ナシ）
筑波	同二十八日	午後十一時九分三十秒	微　性質急、地鳴アリ
筑波	同	午後十一時二十一分三十五秒	微　性質急、地鳴アリ、戸障子鳴ル
福島	同二十九日	午前十一時三十五分三十秒	微（感覺ナシ）
筑波	同	午前十一時三十六分四十秒	微（感覺ナシ）
臺北	同	午後二時四十四分二十九秒	微（感覺ナシ）
京都	同三十日	午後六時五十六分零秒	微　性質急
甲府	同三十一日	午前三時二十一分二十一秒	微　性質緩
福島	同	午前三時二十三分二十秒	微　性質緩、上下動アリ
沼津	同	午前三時二十一分三十三秒	微（感覺ナシ）
飯田	同	午前三時二十二分九秒	微（感覺ナシ）
松本	同	午前三時二十二分二十四秒	微（感覺ナシ）
熊谷	同	午前三時四十二分十九秒	微（感覺ナシ）
根室	同	午前八時四十二分三十五秒	微　性質急
青森	十一月一日	午前十一時五十九分三十六秒	微（感覺ナシ）
秋田	同	午前十一時五十九分三十四秒	微（感覺ナシ）
熊谷	同	午後零時一分二十九秒	微（感覺ナシ）
福島	同	午後零時五十三分十二秒	微（感覺ナシ）
彦根	同二日	午前七時二十五分三十七秒	微　性質緩、地鳴アリ
水戸	同	午後七時二十一分五秒	微　性質緩
甲府	同三日	午後二時五十四分二秒	微（感覺ナシ）
松本	同	午後二時五十四分十一秒	微（感覺ナシ）
彦根	同	午後二時五十四分二十四秒	微（感覺ナシ）
熊谷	同	午後二時五十四分二十六秒	微（感覺ナシ）
福井	同	午後二時五十四分二十九秒	微（感覺ナシ）
宇都宮	同	午後二時五十五分三十九秒	微（感覺ナシ）
青森	同	午後八時二十一分十九秒	微（感覺ナシ）
秋田	同	午後八時二十二分十四秒	微（感覺ナシ）
函館	同	午後八時二十三分二十秒	微（感覺ナシ）
熊谷	同	午後八時二十三分四十八秒	微（感覺ナシ）
福島	同	午後八時二十八分三十八秒	微（感覺ナシ）
松本	同	午後八時三十七分五十秒	微（感覺ナシ）
秋田	同四日	午前一時三十五分四十二秒	微（感覺ナシ）
福井	同	午後零時五十一分四十五秒	微（感覺ナシ）
水戸	同	午後七時四十三分二十二秒	微　性質緩
水戸	同八日	午後四時五分二秒	弱　性質急、上下動アリ、家屋動搖ス
金山	同	午後四時五分十六秒	弱（震度弱キ方）地鳴アリ、家屋動搖ス
石卷	同	午後四時五分三十三秒	弱（震度弱キ方）家屋動搖ス
福島	同	午後四時五分三十四秒	弱（震度弱キ方）性質急、家屋動搖ス
筑波	同	午後四時五分五十秒	弱（震度弱キ方）性質急、家屋動搖ス

第8217号　本文

宇都宮同　午後四時六分ヨリ十二秒
東京同　午後四時五分二十秒
横濱同　午後四時五分四十五秒
田同　午後六時五十七分十五秒
關同　午後六時五十七分十九秒
島同　午後六時五十七分二十五秒

○東京地震報告

發震時　十一月八日午後四時五分二十秒
水平動　四分五秒
初期微動　十二秒
主要動　三十秒
終期微動　三分二十三秒
震動時間（上下動　二分十秒　初期微動　—秒　主要動　—分—秒　終期微動　—分—秒）
最大水平動　金振幅　—粍　周期　—秒
最大土下動　金振幅　—粍　周期　—秒
方向　北—南（北九度東）
震度　微
性質　緩
人身ノ感覺　此地震ハ最初稍ゝ急性ナル微動ニ起リシカ第十四秒時ニ至リテ俄然前記ノ最大水平動ヲ顯シ爾後八秒時間ハ尚ホ著明ナリシ
地鳴ナシ
記事　弱（震度弱キ方）家屋動搖ス
微　性質緩
弱　震度弱キ方　上下動アリ
弱（震度弱キ方）震動時間短シ
弱（震度弱キ方）戸障子鳴ル

正誤

昨九日土地收用公告欄一六九頁上段四行ヶ井通ハ今出通ノ報告誤

内閣書記官

○廣告

○醫籍登錄

醫師法第四條ニ依リ醫籍ニ登錄シタル者左ノ如シ

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
同三二、一	二七〇二	東京	菊池 健二郎	東京府 東京市本鄉區役所
同三二、一	二七〇三	京都府	大石 滋村 秀夫	三重縣 南牟婁郡役所、宇井村役場 京都府醫
同	二七〇四	滋賀縣	敷島 主要	
同	二七〇五	愛知縣	小澤 雄一郎	神奈川縣 足柄上郡役所、櫻井村役場 愛知縣 西春日井郡役所、西枇杷島町役場
同	二七〇六	愛知縣	鳥居 英	
同	二七〇七	愛知縣	小澤 雄一郎	
同	二七〇八	愛知縣	鳥居 英	
同	二七〇九	私立東京慈惠會醫院醫學專門學校醫學科卒業者	秋山 次作	東京府 東京市芝區役所
同	二七一〇	茨城縣平民	飛三 松田	富山縣 東礪波郡役所、般若野村役場
同	二七一一	富山縣平民	松本 秀夫	東京府 東京市麻布區役所
同	二七一二	神奈川縣華族	南條 忠幹	東京府 荏原郡品川町役場
同	二七一三	宮城縣平民	三浦	埼玉縣 北埼玉郡役所
同	二七一四	埼玉縣平民		

醫師試驗合格者

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
同	二七一五	群馬縣平民	山口 幸吉	東京府 東京市神田區役所
同	二七一六	埼玉縣平民	相島 直枝	東京府 東京市本鄉區役所
同	二七一七	茨城縣平民	吉川 源太郎	東京府 東京市小石川區役所
同	二七一八	岐阜縣平民	米吉	東京府 東京市日本橋區役所
同	二七一九	靜岡縣士族	山内 一杉	東京府 東京市深川區役所
同	二七二〇	愛媛縣士族	鎌次 芥川	岡山縣 小田郡役所、神島內村役場
同	二七二一	山口縣平民	俊介 安村	東京府 東京市本鄉區役所
同	二七二二	佐賀縣平民	辨介 重松	福岡縣 嘉穗郡役所、稻築村役場
同	二七二三		喜四郎	

歯科醫師法第四條ニ依リ歯科醫籍ニ登錄シタル者左ノ如シ

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
同三二、一	一二〇五	神奈川縣平民	森下 正八	東京府 東京市麴町區役所
同	一二〇六	長野縣平民	笠井 二郎	東京府 東京市淺草區役所
同	一二〇七	大分縣士族	井上 潔	京都府醫

明治四十三年十一月　內務省

○醫業停止

去月三十一日醫師法第十條ニ依リ歯分ヲ爲シタル者左ノ如シ

明治四十三年十一月　內務省

事由	種別	族籍	氏名
醫師法第十三條第三項違反	業務停止一箇月間	山梨縣平民	望月 邁
過失致死傷	同 五箇月間	佐賀縣士族	岡島 種正
傳染病豫防法違反	同 一箇月間	山形縣平民	豐見 豐
私爲醫業幇助罪	同	福島縣士族	高橋 鐵郎
同	同	長崎縣平民	松村 茅野 仙太郎
墮胎罪	同 六箇月間	愛知縣平民	河合 開一
賭博罪	同 一箇月間	長野縣平民	玄侶
文書偽造行使罪	同 上	新井	久藏
有價證券偽造私印偽造行使、詐欺取財罪	同 上	福田	宣孝

○免許證再下付

醫師法施行規則第四條ニ依リ醫師免許證ノ再下付ヲ爲シタル者左ノ如シ

明治四十三年十一月　內務省

再下付年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
同三二、一	二三六一	東京府士族	山口 榮	東京府 東京市京橋區役所

○免許證書換下付

醫師免許證ヲ書換ヘ下付シタル者左ノ如シ

明治四十三年十一月　內務省

書換下付年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
同三二、一	八〇七	馬島	將平	東京府 東京市芝區役所
同	一九九九	小林	愛雄	東京府 東京市淺草區役所
同	二〇〇七	佐賀縣士族	西野	佐賀縣 藤津郡役所、鎭田村役場
同	二〇六一	島根縣平民	浩水	島根縣 飯石郡役所、掛合村役場
同	二三九九	福岡縣平民	保太 小一	福岡縣 福岡市役所
同	二四八七	愛知縣士族	眞鍋 貞義	大阪府 大阪市西區役所
同			舟橋 愛平	

○證狀無效

第三三五七號　醫師免許證　一枚
第一二三五號　同　同
第七一四〇號　同　同
右紛失ニ付キ無效トス

明治四十三年十一月　內務省

一營業稅檢章　一葉　永代橋稅務署泊勤稅務署屬戶祭勝治記名ノ分
右紛出ノ旨届出ニ依リ無效トス

明治四十三年十一月　內務省

東京稅務監督局

第三三〇四號　締盟工兵訳一　一枚　明治三十四年一月二十八日山梨縣平民大野常平ヘ下付ノ分
右紛失ノ旨届出ニ依リ無效トス

明治四十三年十一月　農商務省

第五一六七號　汽船厚田丸船舶國籍證書（遺失）
第三六號　同甲種船舶檢査證書
第九八號　帆船第拾參號大阪丸甲種船舶檢査證書（遺失）
右狀モ届出ニ依リ無效トス

所有者　秋田水材株式會社
同　川本 助太郎

明治四十三年十一月　遞信省

○講習生募集

本所ニ於テ今般第三十一回講習生ヲ募集ス志願者ハ左ノ事項承知ノ上來ル十二月一二兩日東京（芝區芝公園第十三號地當局通信傳習生養成所及宇都宮郵便局）ニ於テ執行ス受驗地ハ履歷書ノ餘白ニ朱記スヘシ

一　志願者ハ左ノ資格ヲ有スル者タルヘシ
醫術開業免狀ヲ有スル者
講習期間ハ三箇月トシ本回ハ明治四十四年一月十一日ヨリ開始ス
講習生ハ講習料金二十圓ヲ本所ニ納付スヘシ
右ノ外講習ニ關スル費用ハ自辨タルヘシ
講習生ノ許可ヲ得タル者ハ保證人ヲ定メ誓約書ヲ本所ニ差出スヘシ
但シ保證人ハ戶主ニシテ相當ノ財產者タル資格アル者ニ限ル
講習生志願書式（用紙美濃紙以下之ニ同シ）

（自筆ノ事）

履歷書書式（雛形）
誓約書書式（印紙三錢貼用）

（自筆ノ事）

今般貴所講習生タルコトヲ御許可相成候ニ付テハ講習ニ關シ御規則遵守可致ハ勿論所在

年　月　日　居所　本籍　族稱　何　某㊞

傳染病研究所長醫學博士北里柴三郎殿

○講習生募集

一　志願者ハ左ノ資格ヲ有スル者タルヘシ
獸醫免狀ヲ有スル者
講習期間ハ三箇月トシ本回ハ明治四十四年一月十一日ヨリ開始ス
講習生ハ講習料金二十圓ヲ本所ニ納付スヘシ
右ノ外講習ニ關スル費用ハ自辨タルヘシ
講習生ハ講習中無給ニテ使役ニ應スヘシ
但シ保證人ハ戶主ニシテ相當ノ財產者タル資格アル者ニ限ル
講習生志願書式（用紙美濃紙以下之ニ同シ）

（自筆ノ事）

今般傳染病研究所講習生志願ニ付御許可相成度別紙履歷書相添ヘ此段相願候也

明治四十三年　月　日　居所　本籍　族稱　何　某㊞　年月日生

傳染病研究所長醫學博士北里柴三郎殿

○地圖發行

去月十八日本欄內揭載當部出版地圖目錄（第三十八回）中左ノ通追加ス

明治四十三年十一月　陸地測量部

二万分一地形圖假製版ノ部
敦賀近傍ノ內　一面　禮山　今庄
五万分一地形圖一色刷ノ部
東京號ノ內　一面　粕壁
劍山號ノ內　一面　北川

○馬匹拂下

一馬　五十四頃　右本月十六日午前八時ヨリ騎兵第十一聯隊留守隊野砲兵第十一聯隊留守隊及輜重兵第十一大隊ニ於テ驛賣ス買受望ノ者ハ當日同時刻マテニ該隊ニ出願スヘシ

明治四十三年十一月十日　第十一師團經理部委員

一馬　八十頃　右當部ニ於テ騸賣ニ付入買受望ノ者ハ同時刻マテニ出願スヘシ但シ當日雨天ナレハ順次繰下ケ晴天ノ日ノ同時刻ニ於テ爲ス

明治四十三年十一月十日　第十一師團經理部

○通信生募集

當局ニ於テ今般通信生ヲ募集ス志願者ハ左項ヲ了知シ出願スヘシ

明治四十三年十一月　東京遞信管理局

一　年齡滿十三年以上滿二十年以下ノ男子但シ三等局選出者ニ限リ滿十四年以上滿二十五年以下トス
入學試驗ハ高等小學卒業程度ニテ科目ハ讀書、作文、筆蹟、算術、地理、理科竝ニ英語トス
修業年限　在學中日額金二十五錢ヲ給ス
期間ハ約七箇月ニシテ東京ニ於テ養成ス
保證人　東京、埼玉、千葉、山梨、栃木、茨城、群馬ノ各府縣ニ居住シ直接國稅五圓ヲ納付シ又ハ土地若クハ家屋ヲ所有シ獨立ノ生計ヲ營ム成年者トス
願書　受理ハ本月二十五日限試驗ハ來ル十二月一、二兩日東京（芝區芝公園第十三號地當局通信傳習生養成所及宇都宮郵便局）ニ於テ執行ス受驗地ハ履歷書ノ餘白ニ朱記スヘシ
志願手續等ハ最寄電信局所ニ就キ承合スヘシ

○村役場位置變更

泉北郡久世村役場位置ヲ今般大字平井一千八番地ニ變更セリ

明治四十三年十一月　大阪府

○免狀還失

第八三號　乙種三等狩獵免狀
右還失ノ旨届出タリ

明治四十三年十一月　千葉縣

第一一號　乙種三等狩獵免狀　願至郡穴水町字志ケ浦ヨノ四十四番地　谷內　長藏
右還失ノ旨届出タリ

明治四十三年十一月　石川縣

第二一號　乙種三等狩獵免狀　和氣郡三石町大字野谷四百二十一番地平民農　竹內　音平
右還失ノ旨届出タリ

明治四十三年十一月　岡山縣

○購買入札

一「アスベスト」類　三　點　新橋納
右購買入札ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上本月二十五日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ中部鐵道管理局長古川阪次郎擔任ス

明治四十三年十一月十日　中部鐵道管理局

第一號　鐵版（キニーネ）　九万瓦　第二號　葛粉　三十六万瓦外四點
以上入札保證金各自見積價格百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ滿二年以上其業ニ從事セル者ニ限ル
右購買ス入札望ノ者ハ當廳ニ出頭（開札時間內又ハ入札心得書、契約書案、說明書及標本等熟覽ノ上營業證明書ハ本月二十七日マテニ、入札書ハ同二十八日午前十一時入札保證金ヲ添ヘ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ陸軍衛生材料廠長羽田益吉擔任ス

明治四十三年十一月十日　陸軍衛生材料廠

第一號　繃帶　米　四百二十石　右大津屯在各部隊納
第二號　大麥　四千二百八十貫匁　第五號　同　二百三十六石
第三號　藁　三万百十九貫匁　右敦賀屯在各部隊納
以上京都衛戍地屯在各部隊納　第六號　同　二百三十八石
第四號　繃帶　米　二百九石　右奈良屯在各部隊納
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ二年以來引續キ其業ニ從事スル旨ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ入札前日マテニ當部ニ提出スヘシ

許可 8217 号

明治四十三年十一月十日

第十六師團經理部

○工事請負入札

明治四十三年十一月十日　舞鶴海軍經理部

○物品賣拂

明治四十三年十一月十日　舞鶴海軍經理部

○工事請負入札

明治四十三年十一月十日　吳海軍工廠會計部

○工事請負入札

明治四十三年十一月十日　鐵道院福知山建設事務所

○物品賣拂

明治四十三年十一月十日　鐵道院福知山建設事務所

○物品賣拂

明治四十三年十一月十日　鐵道院富山建設事務所

○物品賣拂

明治四十三年十一月十日　秋田大林區署

第 8217 号　本文

第8217号　本文

第8217号　本文

第8217号 本文

○準禁治産宣告取消

群馬縣邑樂郡渡瀨村大字下早川田村百二十番地平民運送業 原 岩次郎
明治七年九月十七日生

右ニ對シ明治三十八年三月三日當區裁判所ノ宣告シタル準禁治産ハ同居ノ母原たつノ申立ニ因リ明治四十三年十月二十八日之ヲ取消タリ

明治四十三年十一月七日

太田區裁判所
判事 馬場鐵

○公示催告

東京府北豐島郡瀧野川村大字瀧野川千四百六番地
不在者 岩井満次郎
出生明治三年五月二十七日

右ニ對シ其母岩井はつヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十四年五月三十一日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘク若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其届出ヲ爲スヘシ

明治四十三年十一月七日

東京區裁判所
判事 安藤政信

○失踪宣告

愛知縣幡豆郡佐久島村百五十六番戸平民船員
不在者 筒井松三郎
明治十五年二月十一日生

右ノ者ニ對シ其父筒井松藏ノ申立ニ因リ失踪者ト宣告シタリ

明治四十三年十一月四日

西尾區裁判所
判事 寺田正次郎

島根縣知夫郡黒木村大字宇賀百六十四番屋敷戸主平民舟夫 藏谷甚太郎

右ノ者ニ對シ其妻藏谷トメノ申立ニ因リ失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十三年十一月二日

西鄕區裁判所
判事 田口銀次郎

○華族世襲財産

子爵水野忠亮所有

東京市日本橋區元柳町ノ内
一市街宅地八十一坪二合二勺

右世襲財産ト爲シタキ旨願出アタル趣宮内大臣ヨリ達セラル依テ該財産ニ對シ故障アル者又ハ地番等承合シタキ者ハ來ル十二月十二日マテニ當廳ニ申出ツヘシ

明治四十三年十一月五日

東京府

○東京中央郵便局外國郵便締切時限

明十一日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「ペスハウール」號ヲ以テシドニー直航濠洲以遠ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	中央局	市内集配局
通常（普通	十一日午後五時	十一日午後三時
通常（書留	同日午後四時半	同日午後二時半
小包	同日午後零時半	同日午前九時半

（備考）小包ハ濠洲宛トス

同日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「プロテシラウス」號ヲ以テビクトリア經由歐米ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	中央局	市内集配局
通常（普通	十一日午後六時	十一日午後三時半
通常（書留	同日午後五時半	同日午後三時
小包	同日午後一時	同日午前十時半
爲替（聯合	同日午後四時	同日正午十二時
爲替（特別	十日午後四時	十日午後四時

（備考）小包ハ北米合衆國宛トス

○同上締切豫告

本月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一タコマ經由歐米諸國宛 十二日頃締切ノ筈
一布哇經由同 十六、二十三、三十日頃締切ノ筈
一加奈陀經由同 十八、二十七日頃締切ノ筈
一シアトル經由同 十九、二十三日頃締切ノ筈
一西伯利經由ノ歐洲諸國、南米（亞爾然丁、伯剌西爾、智利、巴拉圭及烏爾圭ニ限ル）宛 （月曜日午後二時、鳳山丸 火曜日午後七時、露國義勇艦隊船 土曜日 同上、同上）

上海、香港竝ニ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ臨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船出發表

歐洲行

賀茂丸（新造船） 明後十二日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行

濠洲行

熊野丸 明後十二日正午十二時横濱出帆本月十五日午前十時神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行

上海、香港行

筑後丸 明後十二日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行
博愛丸 本月十三日午前十時横濱出帆同十五日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行
阿波丸 同十四日午前十時横濱出帆同十八日午前十時神戸出帆門司、上海、香港行
筑前丸 同十七日午前十時横濱出帆同十九日午前十時神戸出帆門司、長崎、上海行

朝鮮、北清方面行

高砂丸 明十一日正午十二時横濱出帆四日市、神戸、門司、仁川、大連、大沽行
相模丸 本月十七日午前十時神戸出帆門司、長崎、芝罘、大沽行

臺灣行

信濃丸 神戸發正午十二時（毎月三日、十八日） 門司發午後四時（四日、十九日） 基隆著（七日、二十二日）
讃岐丸 神戸發正午十二時（毎月十一日、二十六日） 門司發午後四時（十二日、二十七日） 基隆著（十五日、三十日）

本州、北海道連絡線

毎日（午後八時半 青森發 翌朝五時 室蘭著）
毎日（午後五時 室蘭發 翌朝八時半 青森著）

○大阪商船株式會社汽船出發表

朝鮮行

信濃川丸 今十日午後一時神戸出帆門司（下關）、釜山、木浦、群山、仁川（京城）行
福州丸 明十一日午前十時神戸出帆門司（下關）、仁川（京城）、鎭南浦（平壤）、龍岩浦（新義州）、安東縣行
恒春丸 本月十五日正午十二時神戸出帆宇品、門司（下關）、釜山、元山、西湖津、新浦、城津、淸津行

清國行

開城丸 明後十二日午前十時神戸出帆翌十三日午後一時門司出帆大連行
臺南丸 本月十五日午前十時神戸出帆翌十六日午後一時門司出帆大連行
嘉義丸 同十八日午前十時神戸出帆翌十九日午後一時門司出帆大連行
大智丸 同二十日午前十時神戸出帆門司、天津行
（天津行ハ白河ヲ溯航シ居留地碼頭ニ横付ス）
天草丸 同二十一日午後四時神戸出帆翌二十二日午後四時宇品出帆門司、大連行

米國行

たかお丸 本月十八日午後横濱出帆ビクトリア、タコマ、シアトル行
ぱなま丸 同日午前横濱出帆神戸、門司、上海、香港行

臺灣行

臺北丸 本月十六日午後三時横濱出帆同十九日正午十二時神戸出帆宇品、門司、基隆、澎湖島、安平、打狗行
さくら丸 毎月一日、十五日午後二時神戸出帆門司、基隆行
笠戸丸 毎月八日、二十四日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

○附錄 今十日發刊廣告八頁

官報第八千二百十七號附錄

明治四十三年十一月十日

○廣告

○商業登記

日本電線株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役太刀掛寄吉ハ明治四十三年十月二十五日左ニ移轉セリ
東京市本所區向島小梅町二百五十二番地
一監査役ノ氏名　萱原恒覺　伊藤鼎　澁井謙蔵
以上明治四十三年十月二十七日各株ニ付キ拂込ミタル株金額ヲ左ノ如ク變更ス
一各株ニ付キ拂込ミタル株金額　金二十六圓
右明治四十三年十一月四日登記　東京區裁判所小松川出張所

フルンドレー、リチヤードソン商會變更事項
一商號　フルンドレー、リチヤードソン、エンド、カムパニー、リミテット
右明治四十三年十一月四日登記　橫濱區裁判所

一商號　青木酒店合資會社
一本店　稻敷郡江戸崎町江戸崎二百二十二番屋敷
一目的　酒類及洋酒醬油各種賣買
一設立ノ年月日　明治四十三年十月二十日
一代表社員ノ氏名住所　小林活太郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金三百圓　無限　稻敷郡江戸崎町江戸崎甲三千三十八番地　小林活太郎
一金三百圓　有限　同所三十五番屋敷　田所忠助
一金二百圓　有限　同所二百十九番屋敷　小林喜平
一金百圓　有限　同所二百十一番屋敷　齋藤やす
一金百圓　有限　同所二百二十二番屋敷　青木たき
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ明治五十三年十月十九日迄
右明治四十三年十月三十一日登記　龍ケ崎區裁判所江戸崎出張所

株式會社眞壁銀行登記變更事項
西茨城郡北那珂村惣倉飯田十四番地村井久三郎、眞壁郡長岡村源法寺十九番地柴銅宗平、同郡眞壁町眞壁百二十六番地潮田平四郎、同郡同町田十八番地清水總太郎、同郡樺穗村白井二十八番地櫻井藤八ハ明治四十三年十月二十三日取締役ニ就任
眞壁郡眞壁町眞壁二十五番地猪俣歳太郎、同郡樺穗村下小幡四十三番地藤田縫次ハ明治四十三年十月二十三日監査役ニ就任、長岡寛十郎ハ監査役補缺ニ付退任
右明治四十三年十一月四日登記　下妻區裁判所眞壁出張所

日光彫刻家具製造販賣合資會社解散及清算人選任登記
一明治四十三年十月二十五日總社員ノ同意ニ因リ解散ス
一同日總社員ニ於テ左ノ者ヲ清算人ニ選任ス
上都賀郡日光町大字日光三百八十九番地　大久保金太郎
右明治四十三年十一月四日登記　宇都宮區裁判所今市出張所

登記番號第四號
株式會社川越貯蓄銀行登記事項中左ノ通變更ス
一監査役ノ氏名　前野眞太郎　山崎嘉七
以上明治四十三年十一月一日再選重任
右明治四十三年十一月四日登記　川越區裁判所

登記番號第三號
川越鐵道株式會社登記事項中左ノ通變更ス
一取締役ノ氏名　向山小平次　岩田作兵衛　萱原恒覺　伊藤鼎　澁井謙蔵
一監査役ノ氏名
以上明治四十三年十月二十七日再選重任
右明治四十三年十一月四日登記　川越區裁判所

合資會社設立登記
一商號　八木式蠶業刻器製造販賣合資會社
一本店　兒玉郡本庄町三千百八番地
一目的　專ラ特許第一二〇九〇號八木式蠶業刻器製造販賣業
一設立ノ年月日　明治四十三年十月二十五日
一存立時期及解散ノ事由　定メス
一代表社員ノ氏名　八木伊之吉
一社員ノ氏名住所出資種類價格及責任
一金百二十五圓　兒玉郡本庄町三千百八番地　八木伊之吉
一金百二十五圓　無限責任
一金百二十五圓　有限責任　兒玉郡本庄町四百二番地　戸谷伴六
一金百二十五圓　有限責任　兒玉郡本庄町三千二十番地ノ二　山田安太郎
一金百二十五圓　有限責任　兒玉郡本庄町三千百九番地　吉澤六右衛門
右明治四十三年十一月二日登記　熊谷區裁判所本庄出張所

妻登記
妻登記第二號
一妻ノ氏名住所　兒玉郡桧久村大字甘粕七百三十九番地ノ二　野口まり
一營業ノ種類　雜穀及雜貨
一營業所　兒玉郡桧久村大字甘粕七百三十九番地ノ二
右明治四十三年十一月四日登記　熊谷區裁判所兒玉出張所

合名會社監査記錄第四號
一明治四十三年十月十九日蘇合名會社桐生支店社員淨村熊次郎ハ其住所ヲ東京市日本橋區通旅籠町十一番地ヘ移轉シタリ
右明治四十三年十一月五日登記ス　太田區裁判所桐生出張所

登記番號第二號
株式會社眞壁銀行大宮支店ハ明治四十三年十月二十八日廢止ス
明治四十三年十一月四日登記　吉原區裁判所大宮出張所

株式會社變更登記
一濱松印刷株式會社監査役補期ノ處明治四十三年十月二十四日西田正中村藤吉重任セリ
右明治四十三年十月二十九日登記

一龍光株式會社ハ明治四十三年十月二十八日磐田郡中泉町中泉四百七十二番地ノ一ノ支店ヲ同郡同町同二百三十番地ノ二ヘ移轉セリ
右明治四十三年十月三十一日登記　濱松區裁判所

株式會社登記變更
龍光株式會社中泉支店登記事項中左ノ通變更ス　一明治四十三年十月二十八日株主臨時總會ノ決議ニ依リ營業所ヲ磐田郡中泉町中泉二百三十番地ノ二ト變更ス
右明治四十三年十一月五日登記ス　濱松區裁判所見付出張所

第8217号　付録

付録　第8217号

第8217号　付録

○法人登記

技術研究會變更事項
一理事改選
三浦郡浦郷村長浦八百三番地　鈴木庄藏
横須賀市稻岡町第二號海軍官舍　中島次三郎
三浦郡浦郷村田浦乙第九十一號海軍官舍　救仁郷武豐
三浦郡衣笠村平作三千八百六十四番地　鈴木國造
横須賀市稻岡町百四番地　守谷利八
三浦郡浦郷村船越百五十九番地　羽田崇
右明治四十三年十一月五日登記　横須賀區裁判所

茨城縣行方郡教育會理事松浦昌ハ辭任シタリ
右明治四十三年十一月四日登記　麻生區裁判所

○產業組合登記

有限責任土村信用組合ハ明治四十三年十月二十九日理事及監事任期滿了改選ノ結果左ノ者再任ス　一理事東葛飾郡土村増尾一〇七三番地平川平太郎　同郡同村酒井根二三一番地高橋源介　同郡同村逆井九八五番地日暮穰平　同郡同村酒井根一〇四番地田中清五郎　同郡同村藤心一三五番地金子林藏　一監事東葛飾郡土村名戸ヶ谷九一三番地木村作左衛門　同郡同村増尾八四二番地關口辰五郎　同郡同村逆井一三三八番地篠田藤太郎
右明治四十三年十一月四日登記　松戸區裁判所

有限責任吉野信用組合登記事項中左ノ通變更
一理事武内三郎ハ辭任ス
右明治四十三年十一月五日登記　木更津區裁判所佐貫出張所

產業組合登記簿第九號
一明治四十三年十月二十二日有限責任信用販賣組合碓氷社柳瀬組理事佐藤幸次郎ハ死亡シタリ
右明治四十三年十一月四日登記ス　高崎區裁判所安中出張所

產業組合登記簿第二十八號
一明治四十三年十月二十七日有限責任信用販賣組合碓氷社瀧藻組ハ群馬縣碓氷郡後閑村大字下後閑村甲三千十三番地長加部林吉ヲ監事ニ選任シタリ
右明治四十三年十一月四日登記ス　高崎區裁判所安中出張所

產業組合登記變更
一有限責任瀬尻信用組合理事片桐善八死亡シ磐田郡龍山村瀬尻七百二十七番地宮澤今朝市補缺選任ス
明治四十三年十一月五日登記　濱松區裁判所龍川出張所

產業組合設立登記
一名稱　有限責任川尻信用購買組合　二組織　有限責任　三事務所　静岡縣榛原郡吉田村川尻二百七十一番地　四目的　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト　產業又ハ生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト　五設立許可ノ年月日　明治四十三年十月二十四日　六出資一口ノ金額十圓　七出資拂込ノ方法全部拂込濟　八理事ノ氏名住所　静岡縣榛原郡吉田村川尻三百二十九番地増田甚太郎　同所千六百六十一番地横田市右衛門　同所百二番地増田伊十　同所千六百五十六番地増田半助　同所千六百六十九番地増田清作　九監事ノ氏名住所　静岡縣榛原郡吉田村川尻百十一番地久保田晴太郎　同所二千百七十番地久保田仁平　同所百二十七番地増田春吉　同所七十九番地大石善作　同所百七番地岩本幾平　十存立ノ時期明治四十三年十月二十四日ヨリ十箇年
右明治四十三年十一月四日登記　掛川區裁判所川崎出張所

產業組合設立登記
一名稱　有限責任大野生產購買組合　二組織　有限責任　三事務所　磐田郡幸浦村寄木七十七番地　四目的　一組合員ニ產業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト　二組合員ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ組合員ヲシテ產業ニ必要ナルモノヲ使用セシムルコト　五設立許可ノ年月日　明治四十三年三月十九日　六出資一口ノ金額　金十圓　七拂込ノ方法　出資第一回拂込金額ハ一口金一圓トシ第一回拂込以後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ毎年六月三十日及十二月三十一日迄ニ金五十錢以上ヲ拂込ムモノトス　八理事ノ氏名住所　磐田郡幸浦村寄木七十七番地永田源三郎　同郡同村同九十四番地磯部玉次郎　同郡同村同百六番地前田九平　九監事ノ氏名住所磐田郡幸浦村寄木三千四百五十番地平松瀧平　同郡同村同百五十四番地永田助十　同郡同村同百二十六番地大石惡作　十存立ノ時期　ナシ
右明治四十三年十一月二日登記ス　掛川區裁判所大須賀出張所

有限責任菅原信用組合登記事項中左ノ如ク變更ス
一理事山崎壽ハ死亡ス
同組合登記事項中理事補缺選擧ニ因リ左ノ人名當選變更ス
一理事ノ氏名住所　中頸城郡菅原村大字馬屋一番戸　風間安太郎
明治四十三年十一月五日登記　高田區裁判所飯田出張所

無限責任下三方信用購買販賣組合定款變更登記　本組合ノ目的中左ノ一項ヲ加フ、本組合ニ加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フ
右明治四十三年十一月四日登記　龍野區裁判所安積出張所

產業組合變更登記
無限責任各務信用購買組合登記事項中理事一名缺員ニ付明治四十三年十月三十日臨時總會ニ於テ補缺選擧ノ結果左ノ者ヲ選任ス　稻葉郡各務村各務五十四番戸　長縄榮吉
右明治四十三年十一月四日登記　岐阜區裁判所那加出張所

產業組合設立登記
一名稱　無限責任田原名信用購買販賣組合
一組織　無限責任
一事務所　長崎縣北高來郡小長井村大字小川原浦百四十二番戸
一目的　組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ又產業及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルニ因ル
一設立許可ノ年月日　明治四十三年十月十三日
一出資一口ノ金額　金二十五圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込金額一口ニ付金二圓五十錢トシ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付毎年十二月末ニ金五圓ヲ拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所　長崎縣北高來郡小長井村大字小川原浦又百四十三番戸　田川關藏
同縣同郡同村大字同百四十九番戸　山崎鶴之助
同縣同郡同村大字同百四十二番戸　田川繁市
一監事ノ氏名住所　同縣同郡同村大字同田原名八百三十八番地　二位松澤助
同縣同郡同村大字同百六十九番戸　永淵新
同縣同郡同村大字同田原名三百二番地　大瀬幸三
一存立期限　二十箇年
右明治四十三年十一月四日登記　大村區裁判所湯江出張所

無限責任飯盛信用購買販賣組合登記事項中理事竝監事任期滿了ニ付左ノ通改選セリ　理事ニ古川卯吉　福島友吉　徳久太三　深川助作以上重任　佐賀郡東與賀村大字飯盛三十番地堤龍三郎以上新任　監事ニ古川米吉　嘉藤與一　古川武一　古川卯次以上重任　同郡同村同大字四十番地徳久清一以上新任
右明治四十三年十一月二日登記　佐賀區裁判所

無限責任飫肥購買販賣組合登記事項變更　存立ノ時期ヲ二十五箇年ニ變更ス
右明治四十三年十一月一日登記　飫肥區裁判所

無限責任函館購買販賣組合登記事項中理事中村金兵衛ハ明治四十三年五月十日死亡ス
解散登記
無限責任函館購買販賣組合ハ總會ノ決議ニ因リ明治四十三年十月十五日解散ス
一清算人ノ氏名住所　龜田郡大野村大字大野村字鶴野道南二番地松田泰次郎　同郡七飯村大字大中山村字新道端百二十六番地十倉綱紀　函館區新川町二百九十八番地池田醇
右明治四十三年十月二十七日登記　函館區裁判所